

作業部会【4歳児】

佐倉 咲江（広野保育園 主任）

石田 智子（東幼稚園 副主任）

岡本 美幸（勝北風の子こども園 副主任）

垂井 静江（公郷保育所 主任）



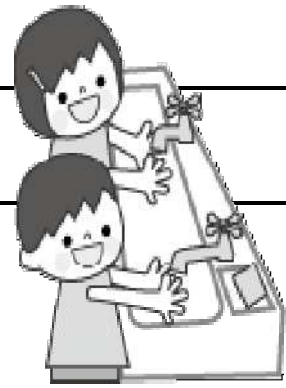
本郷 順子（美作大学附属幼稚園 園長）

塚本 さつき（成名幼稚園 園長）

中西 由美子（しらゆり幼稚園 主任）

植月 瑞恵（林田保育園 保育士）

おもな発達の特徴 4 歳児



理念	保育内容（5領域）		おもな発達の特徴
健康な心と体	健康	身体・運動機能 体のバランス 協応動作	○全身のバランスをとって、運動遊びをする。 ○運動遊びや集団遊びなどを簡単なルールを守って、楽しんでいます。 ○手洗い・うがい、衣服の調節など生活に必要な習慣が身につき、自分では自分でする。 ○危険な場所や遊具の安全な使い方を知り、気をつけて遊ぶ。
	基本的生活習慣		いれて いいよ
自信と信頼	人間関係	人とかかわる力 自立心 協同 規範意識など	○仲間意識が芽生え、友達と誘い合って遊ぶ。 ○ルールの大切さに気付き、交代したり、順番を待ったりする。 我慢できるよ
	環境	好奇心 探究心 生活に取り入れる力 など	○遊具・用具の扱い方を知り、友達と準備をしたり片付けたりする。 ○いろいろな事に興味関心を持ち、やってみよう自分から取り組み、自分の力を発揮する。 ねえ、先生 来て 見よって
命と自然	言葉	話す力 聞く力 言葉で表現する力 など	○自分の思いや考えを言葉で話したり、相手の話を聞き、友達の気持ちに気付いたりする。 ○絵本などのストーリーからイメージを広げる。
豊かな情操と賢さ	表現	豊かな感性や表現力 想像力 描く 作る リズム など	○いろいろな方法で表現し、イメージを膨らませ、なりきって遊ぶことを楽しむ。

4 歳児 4 月

<p>発達 こと の 主 な 特 徴</p>	<p>(進級児)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育室や担任が変わり、新しい環境に期待をもって過ごす子ども、さまざまな変化に伴い、不安や戸惑いを感じながら過ごす子どもがいる。 ・これまでの友達とのつながりから一緒に遊び始める。慣れている遊び(ブロック・ソフト積み木など)や身近な素材を使って遊ぶことなどから、安心して過ごす姿が見られる。 ・ロッカーが近かったり、好きな遊びが一緒だったりすることから、新しい友達にかかわっていく姿も見られる。 ・気の合う友だちと一緒に、園庭に出て虫を探したり砂遊びをしたりして、いろいろな物を見つけ、興味関心をもって集中して楽しむことができる。 ・衣服の着脱や持ち物の始末などは、自分の場所を覚えて自分でできる子どもがほとんどであるが、保育者の手助けを求める子どももいる。遊びたい気持ちが優先する子どももいるが、保育者が声をかけるとできる。困ったことがあっても、今までに経験した方法で解決しようとする姿も見られる。 ・遊びの中で友達に思いがうまく伝わらない時は、保育者を頼りにして自分の思いを告げようとする。 <p>(新入園児)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母親と離れて生活することが辛く、不安定な姿を見せるが、保育者が優しく名前を呼んで触れ合いかわかることで少しずつ慣れてくるようになる。 ・保育者と一緒に衣服の着脱をするうちに、次第にできるようになってくる。 ・持ち物を始末する場所がわかってくると、自分でしようとする。 ・園生活の流れが次第にわかってくる。保育者や年長児の遊びや手伝いを真似てしようとする。 										
<p>(養育・ ねらい 教育)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・進級を喜び、新しい友だちや保育者に親しみをもつ。 ・入園を喜び園(所)での生活に慣れ、安心して過ごす。 ・保育者や友だちと一緒に好きな遊びを見つけて楽しむ。 ・保育者やクラス友だちと一緒に過ごす楽しさを感じる。 ・生活の仕方がわかり、身の回りのことを自分でしようとする。 ・くつろいだ雰囲気の中で、子どものさまざまな欲求を十分に満たし、情緒の安定を図る。 										
<p>経験 させ たい 内容</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="258 781 300 929">健康 な 心 と 体</td> <td data-bbox="303 781 1366 929"> <p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服の着脱の仕方を知り、自分でする。 ・自分の持ち物の片付ける場所を知る。 ・気の合う友達と、戸外に出て好きな遊びをする。(ブランコ・滑り台・鉄棒・砂場など) ・遊具や用具を安全に気を付けて、繰り返し楽しんで遊ぶ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="258 934 300 1081">人間 関 係</td> <td data-bbox="303 934 1366 1081"> <p>人間関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者に親しみをもち、好きな遊びを一緒にしたり、一緒に過ごしたりする。 ・保育者の仲立ちによって、異年齢の友だちとかがわって遊ぶ。 ・気の合う友だちと一緒に、好きな遊びを楽しんでする。 ・して欲しいことや困ったことを自分なりの表現で保育者に伝える。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="258 1086 300 1171">環 境</td> <td data-bbox="303 1086 1366 1171"> <p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な遊具や用具などの扱い方を知り、楽しく使って遊ぶ。 ・戸外に出て遊ぶ快さを感じる。 ・春の自然に触れ、園庭や園外の虫や草花に興味や関心をもつ。 ・虫を探したり、飼育物を見たり触ったりして遊ぶ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="258 1176 300 1238">命 と 自 然</td> <td data-bbox="303 1176 1366 1238"> <p>言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつや返事などの生活に必要な言葉を使う。 ・保育者の話に、親しみをもって聞いたり話したりする。 ・したいこと、して欲しいことなど困ったことを言葉で伝える。 ・絵本・紙芝居・視聴覚教材などを見たり聞いたりして楽しむ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="258 1243 300 1305">豊 か な 情 操</td> <td data-bbox="303 1243 1366 1305"> <p>表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友だちと一緒に、歌ったり体を動かしたりして楽しむ。 ・身近な素材や用具を使って自分の好きなものを描いたり作ったりする。 </td> </tr> </table>	健康 な 心 と 体	<p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服の着脱の仕方を知り、自分でする。 ・自分の持ち物の片付ける場所を知る。 ・気の合う友達と、戸外に出て好きな遊びをする。(ブランコ・滑り台・鉄棒・砂場など) ・遊具や用具を安全に気を付けて、繰り返し楽しんで遊ぶ。 	人間 関 係	<p>人間関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者に親しみをもち、好きな遊びを一緒にしたり、一緒に過ごしたりする。 ・保育者の仲立ちによって、異年齢の友だちとかがわって遊ぶ。 ・気の合う友だちと一緒に、好きな遊びを楽しんでする。 ・して欲しいことや困ったことを自分なりの表現で保育者に伝える。 	環 境	<p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な遊具や用具などの扱い方を知り、楽しく使って遊ぶ。 ・戸外に出て遊ぶ快さを感じる。 ・春の自然に触れ、園庭や園外の虫や草花に興味や関心をもつ。 ・虫を探したり、飼育物を見たり触ったりして遊ぶ。 	命 と 自 然	<p>言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつや返事などの生活に必要な言葉を使う。 ・保育者の話に、親しみをもって聞いたり話したりする。 ・したいこと、して欲しいことなど困ったことを言葉で伝える。 ・絵本・紙芝居・視聴覚教材などを見たり聞いたりして楽しむ。 	豊 か な 情 操	<p>表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友だちと一緒に、歌ったり体を動かしたりして楽しむ。 ・身近な素材や用具を使って自分の好きなものを描いたり作ったりする。
健康 な 心 と 体	<p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服の着脱の仕方を知り、自分でする。 ・自分の持ち物の片付ける場所を知る。 ・気の合う友達と、戸外に出て好きな遊びをする。(ブランコ・滑り台・鉄棒・砂場など) ・遊具や用具を安全に気を付けて、繰り返し楽しんで遊ぶ。 										
人間 関 係	<p>人間関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者に親しみをもち、好きな遊びを一緒にしたり、一緒に過ごしたりする。 ・保育者の仲立ちによって、異年齢の友だちとかがわって遊ぶ。 ・気の合う友だちと一緒に、好きな遊びを楽しんでする。 ・して欲しいことや困ったことを自分なりの表現で保育者に伝える。 										
環 境	<p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な遊具や用具などの扱い方を知り、楽しく使って遊ぶ。 ・戸外に出て遊ぶ快さを感じる。 ・春の自然に触れ、園庭や園外の虫や草花に興味や関心をもつ。 ・虫を探したり、飼育物を見たり触ったりして遊ぶ。 										
命 と 自 然	<p>言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつや返事などの生活に必要な言葉を使う。 ・保育者の話に、親しみをもって聞いたり話したりする。 ・したいこと、して欲しいことなど困ったことを言葉で伝える。 ・絵本・紙芝居・視聴覚教材などを見たり聞いたりして楽しむ。 										
豊 か な 情 操	<p>表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友だちと一緒に、歌ったり体を動かしたりして楽しむ。 ・身近な素材や用具を使って自分の好きなものを描いたり作ったりする。 										
<p>環 境 構 成 と 援 助</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育室は明るい雰囲気にして、安心感がもてるようにする。 ・持ち物の始末がしやすいように、靴箱やロッカーなどにシールや目印の絵などを貼る。始末の仕方や場所を覚えて自分でできるように、機会を捉え、繰り返し見せたり励ましたりして、できた心地良さを感じさせる。 ・トイレは明るく清潔な雰囲気にしたり、使い方は保育者が必要に応じて手を添え、気持ちよく出来るようにする。 ・一人一人の子どもの興味関心から好きな遊びができるように、コーナーを設けたり、遊具や用具を用意する。遊びの様子や友達関係を把握する。 ・安全に遊ぶことができるように、園庭の遊び場の環境を整えとともに、園内の危険な場所やしてはいけないことを確認しながら遊んだり生活したりする。 ・不安感や緊張から遊びに入れない子どもには、保育者が優しく言葉をかけたり、一緒に興味のある遊びをしたり、友達遊ぶ様子を紹介したりしながら、安定した気持ちで遊びたいという気持ちももてるようにする。 ・自分の思いが言えない子どもには、保育者が気持ちを汲んで優しく受け止め、言葉の足りないところを補いながら、相手に思いを伝えられるようにかかわる。困った時などは保育者が助けてくれることや頼りになることを伝える。 ・春の草花や虫などに触れたり、飼育動物と遊んだりする場や時間を設ける。子どもたちの感性を大切に受け止め、一緒に見たり触れたりしながら命の大切さに気付かせる。 ・簡単な表現遊びを取り入れ、保育者が楽しくなりきって動き、手本を示したり、その子らしい表現を取り上げたりして、体を動かしたりまねて遊んだりする楽しさが味わえるようにする。 ・自分の思い通りにいかず、「出来ない」という子どもには、優しく声をかけ、困っているところはどこかを知り、取り掛かりのきっかけを作ったり、その子なりの取組みを認めたりして、あきらめずにやり遂げる満足感が味わえるようにする。 ・製作に使う道具の安全な使い方を、遊ぶ中で具体的に教えていく。 										
<p>家 庭 ・ 小 学 校 と の 連 携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの緊張と不安を十分に受け止め、安心して登園できるようにしてもらう。 ・家庭訪問や連絡帳を通して子どもの様子を伝え、保護者との信頼関係がもてるようにする。 ・新しい環境での緊張から体調を崩す子もいるので、健康状態に配慮してもらう。 ・小さなことに不安をもつ保護者には、登降園の時間を活用して様子を聞くようにして対応する。 ・散歩に出かけた時には、地域の方に挨拶をして親しみの気持ちをもつようにする。 ・PTAの集まりや参観日、園生活の様子を具体的に知らせながら、園運営等の考えを伝え、友達と一緒に集団の中で育ち合うことの意味を伝える。 										

4歳児 5月

<p>発達 の 主 な 特 徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・連休明けで生活リズムが崩れたり、不安になったりする姿が見られる。 ・園生活の流れがわかり、進んで身の回りのことをしようとする姿が見られる。一方で遊びたい気持ちが優先し、身の回りの始末ができなかったり、次の行動に気持ちを切り替えられない子どももいる。 ・保育者との信頼関係や友達との遊びから、できなかったり、困ったことなどが言えるようになる。 ・好きな遊びを見つけて楽しむようになり、いろいろなことに挑戦しようとする。固定遊具では、今までできなかった事ができるようになり、「みて、できた。」と喜び姿が見られる。 ・友達と遊びたい気持ちがかかわるが、思いがうまく伝えられず、仲間に入れてもらえなかったり、相手に嫌な思いをさせてしまうなどのトラブルがおきる。保育者の仲立ちによって、納得して遊び出す子どもや別の遊びをする子どもがいる。納得できずに嫌な思いを長く引きずる子どももいる。 ・ダンゴムシなどの虫探しに興味をもち、見つけた喜びを保育者や友達に伝えたり、繰り返しいろいろな所を探したり、捕まえたりすることを楽しむ姿が見られる。 ・トマト、キュウリ、ピーマン等の夏野菜を植え、水やりなどの世話をし、変化に気が付いて、保育者や友達に伝える姿が見られる。 										
<p>(教育 ねらい ・ ・ ・)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の仕方がわかり、自分でできることは自分でしようとする。 ・好きな遊びを保育者や友達と一緒に楽しむ。 ・戸外で体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ・春の自然に触れて遊ぶ楽しさを味わう。 ・くつろいだ雰囲気の中で、子どもの様々な欲求を十分に満たし、情緒の安定を図る。 										
<p>経験 させ たい 内容</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="247 616 319 750"> <p>健康 な 心 と 体</p> </td> <td data-bbox="319 616 1324 750"> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と楽しく食事をする。 ・嫌いなものを少しは食べてみようとする。 ・衣服の着脱、持ち物の始末など、身の回りのことを自分からしようとする。 ・遊具、用具の使い方、危険な場所を知り気をつけて遊ぶ。 ・戸外で体を動かして遊ぶ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="247 750 319 884"> <p>人 間 関 係</p> </td> <td data-bbox="319 750 1324 884"> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達との安定した関係の中で、いきいきと遊ぶ。 ・友達の存在に目をむけ、同じ場所で遊んだり、友達のすることを真似たりして遊ぶ。 ・異年齢の友達とのかかわりを喜ぶ。 ・簡単なルールのある遊びをする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="247 884 319 1019"> <p>環 境</p> </td> <td data-bbox="319 884 1324 1019"> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の目印を知り、片付けをする。 ・戸外で身近な春の自然に触れて遊び、春の草花で遊んだり、虫を探したり飼ったりする。 ・散歩や遠足などの園外保育で自然に触れ、驚いたり、感動したりする。 ・種まきや苗植えなどを体験し、植物の生長に興味や関心をもつ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="247 1019 319 1153"> <p>命 と 自 然</p> </td> <td data-bbox="319 1019 1324 1153"> <ul style="list-style-type: none"> ・「いれて。」「かして。」など遊びに必要な言葉を知る。 ・したいこと、してほしいこと、困っていることを保育者や友達に言葉で言う。 ・見たことや聞いたことを話したり、疑問に思ったことを尋ねたりする。 ・保育者や友達の話に興味をもって聞こうとする。 ・絵本、紙芝居、視聴覚教材などを見たり聞いたりする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="247 1153 319 1276"> <p>豊 か な 情 境 と 表 現</p> </td> <td data-bbox="319 1153 1324 1276"> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒に歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたりする。 ・タンバリンや鈴、カスタネットなどの扱いを知り、リズムに合わせて楽器遊びをする。 ・身近な素材や用具を使って、自由に描いたり作ったりする。 ・粘土などを使って、自分の思うようにいろいろなものを作りながらイメージを広げる。 </td> </tr> </table>	<p>健康 な 心 と 体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と楽しく食事をする。 ・嫌いなものを少しは食べてみようとする。 ・衣服の着脱、持ち物の始末など、身の回りのことを自分からしようとする。 ・遊具、用具の使い方、危険な場所を知り気をつけて遊ぶ。 ・戸外で体を動かして遊ぶ。 	<p>人 間 関 係</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達との安定した関係の中で、いきいきと遊ぶ。 ・友達の存在に目をむけ、同じ場所で遊んだり、友達のすることを真似たりして遊ぶ。 ・異年齢の友達とのかかわりを喜ぶ。 ・簡単なルールのある遊びをする。 	<p>環 境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の目印を知り、片付けをする。 ・戸外で身近な春の自然に触れて遊び、春の草花で遊んだり、虫を探したり飼ったりする。 ・散歩や遠足などの園外保育で自然に触れ、驚いたり、感動したりする。 ・種まきや苗植えなどを体験し、植物の生長に興味や関心をもつ。 	<p>命 と 自 然</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「いれて。」「かして。」など遊びに必要な言葉を知る。 ・したいこと、してほしいこと、困っていることを保育者や友達に言葉で言う。 ・見たことや聞いたことを話したり、疑問に思ったことを尋ねたりする。 ・保育者や友達の話に興味をもって聞こうとする。 ・絵本、紙芝居、視聴覚教材などを見たり聞いたりする。 	<p>豊 か な 情 境 と 表 現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒に歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたりする。 ・タンバリンや鈴、カスタネットなどの扱いを知り、リズムに合わせて楽器遊びをする。 ・身近な素材や用具を使って、自由に描いたり作ったりする。 ・粘土などを使って、自分の思うようにいろいろなものを作りながらイメージを広げる。
<p>健康 な 心 と 体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と楽しく食事をする。 ・嫌いなものを少しは食べてみようとする。 ・衣服の着脱、持ち物の始末など、身の回りのことを自分からしようとする。 ・遊具、用具の使い方、危険な場所を知り気をつけて遊ぶ。 ・戸外で体を動かして遊ぶ。 										
<p>人 間 関 係</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達との安定した関係の中で、いきいきと遊ぶ。 ・友達の存在に目をむけ、同じ場所で遊んだり、友達のすることを真似たりして遊ぶ。 ・異年齢の友達とのかかわりを喜ぶ。 ・簡単なルールのある遊びをする。 										
<p>環 境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の目印を知り、片付けをする。 ・戸外で身近な春の自然に触れて遊び、春の草花で遊んだり、虫を探したり飼ったりする。 ・散歩や遠足などの園外保育で自然に触れ、驚いたり、感動したりする。 ・種まきや苗植えなどを体験し、植物の生長に興味や関心をもつ。 										
<p>命 と 自 然</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「いれて。」「かして。」など遊びに必要な言葉を知る。 ・したいこと、してほしいこと、困っていることを保育者や友達に言葉で言う。 ・見たことや聞いたことを話したり、疑問に思ったことを尋ねたりする。 ・保育者や友達の話に興味をもって聞こうとする。 ・絵本、紙芝居、視聴覚教材などを見たり聞いたりする。 										
<p>豊 か な 情 境 と 表 現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒に歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたりする。 ・タンバリンや鈴、カスタネットなどの扱いを知り、リズムに合わせて楽器遊びをする。 ・身近な素材や用具を使って、自由に描いたり作ったりする。 ・粘土などを使って、自分の思うようにいろいろなものを作りながらイメージを広げる。 										
<p>環 境 構 成 と 援 助</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の量や好みなどの個人差を考慮したり、加減したりしながら、友達と一緒に楽しく食べることができるようになると共に、簡単なマナーを知らせていく。 ・新入園児と、友達関係ができている進級児の経験の違いを考慮して、一人一人に応じたかかわりをする。遊び方の違いやそれぞれの思いの伝え方などを十分に受け止めるようにする。一人一人の子どもが戸惑わないように個人差に応じた配慮をし、安心感もてるようにする。 ・園庭や室内の遊具や用具の安全点検をおこなう。保育者も一緒に遊びながら安全な使い方を知らせたり、約束を知らせたりする。 ・生活を共にしながら、片付けなどの仕方を教えたり、自分でしようとする気持ちがもてるように工夫して環境を整える。 ・自分で身の回りのことをしようとする姿を見守り、必要に応じて声をかけたり手伝ったりして、自分でできたという満足感がもてるようにする。 ・一人一人の子どもの興味を把握し、好きな遊びに十分に取り組みるように、ゆったりとした遊び場、遊具、用具を準備する。 ・保育者も一緒に遊ぶことで、戸外で体を動かして遊ぶ心地よさを共有し、欲求が満たされ充実感が感じられるようにする。 ・一人一人の子どもと十分触れ合いながら、興味をもっていること、戸惑っていることなどを丁寧にくみ取るように努め、その子どもが求めるかかわりをしていく。 ・園外保育を計画し、ゆったり季節の草花や小動物に触れたり、遊んだりできるような場や時間を設ける。 ・動植物の世話を一緒にに行い、子どもが関心をもって世話をしたり、生長観察ができるように、表示をしたり、かかわり方を知らせたりする。 ・季節の小動物や植物等の図鑑や絵本などを見やすい場所に置く。 ・一緒に世話をしながら、子どもたちが夏野菜の生長の変化に気づいたつづやきなどを捉え、クラスの子どもたちに知らせ、関心もてるようにする。 ・思いのままに描いたり、作ったりできる素材や用具を用意し、作りながらイメージをふくらませて遊ぶ楽しさが味わえるようにする。 ・自分から遊びはじめない子どもには、何に興味や関心があるかを把握し、保育者が一緒に過ごしたり、興味関心のあることをきっかけに遊んだりすることで、安心感をもって過ごせるようにする。 ・遊びの中で、トラブルが起きた時は、お互いの気持ちを聞いたり、受け止めたりすることで安心感をもたせる。必要に応じて、言葉を添えるなどの仲立ちをしながら、友達とのかかわり方を知らせていく。 ・自然の中でのさまざまな感動体験を通して、子どもの驚きや発見を見逃さず受け止め、共感していく。 										
<p>(家 庭 ・ 学 校 等 と の 連 携)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園生活に慣れてくる反面、疲れが出始め、体調を崩しやすいので、健康には十分に留意してもらおう。 ・運動量も増えてくるので、家庭での生活リズムを整え、休息を取るよう伝える。 ・園での遊びや生活の様子を、便りや連絡帳、掲示板で知らせ、園と家庭が互いに情報交換しながら、安心して子育てができるようにする。 ・友達とのかかわりが増え楽しく遊べるようになった反面、自分の思い通りにならないことが増え、トラブルが発生しやすくなるので、遊びの様子をよく見て、伝えるようにする。トラブルも成長の一つの要素であることを知らせる。 ・戸外遊びの機会が多くなるので、気温に応じて衣服の調節ができるように、衣服の補充をお願いする。 ・親子遠足などを通して、親子と一緒に楽しめる場も工夫をしていく。 ・散歩や遠足で出会う地域の方に挨拶をする。 										

4 歳児 6 月

<p>発達 こどもの 主な特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> 園生活の流れがわかり、園内の様々な環境(クラスの友達、年長児がしている遊び、年下の友達、生き物、園内の掲示物など)に関心をもちたり、周りが見えてきたりする。 水遊びを楽しみにして、水着の着替え方を知らせると順序よく行うことができる。シャツが自分で脱げずに「手伝って。」と言ったり、初めてすることに不安があり、どうしていいかわからなかったりする子どももいる。早くプールに入りたい気持ちが強く、脱いだ服の始末をおろそかにしがちな姿も見られるが、保育者が声をかけたり、回数を重ねたりするうちに、自分でできるようになる。水遊びを喜んでする子どもが多い。 身近にある廃材(牛乳パック、空き箱、カップなど)を使って自分なりにイメージしたものを作ったり、友達が作っているものを真似たりする。セロテープを使ってつなげていながら、偶然できたもので満足する子どももいる。 砂場で泥団子作りをしたり、穴を掘って水を入れたり、道を作ったりする。少人数のグループで会話しながら遊ぶ。裸足やサンダルになって遊ぶことをいやがったり、汚れることに抵抗のある子どももいる。 自分の好きな遊びを見つけたり、友達の遊び(草花遊び、石けん遊び、家族ごっこなど)に興味をもって一緒に遊んだりするが、物や役の取り合いになる。また、ルールのある遊びをしようとするが、自分の思いだけで遊ぶため、トラブルになることがある。 自分の持ち物とみんなで使うものがわかり、使ったものをもとの場所に片づけをしようとするが、最後まで片付けられない子どももいる。 園庭ではダンゴムシ、カエル、カタツムリ、赤ちゃんバッタなどを探すことを楽しんでいる。図鑑を先生と一緒に見ながら餌や飼いや方を知る。 年長児と一緒に玉ねぎやジャガイモの収穫を楽しんだり、夏野菜の生長を楽しみにしている様子が見られる。栄養士の話聞いて(その時期に収穫するもの、夏野菜など)、興味や関心をもつ。 										
<p>(教育・養育) ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな物や遊びに興味や関心をもち、自分なりにかかわって遊ぶことを楽しむ。 遊びや生活に必要なことを知り、自分でできることは自分でしようとする。 いろいろな物や素材に触れて、開放感や感触を味わったり、試したり工夫したりして遊ぶ。 いろいろな遊びをする中で、友達とかかわる楽しさがわかる。 梅雨期の自然現象や小動物を見たり触れたりして、興味や関心をもつ。 梅雨期の衛生に気を配り、清潔な環境の中で快適に過ごせるようにする。 										
<p>経験させたい内容</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="231 728 279 840">健康な心と体</td> <td data-bbox="279 728 1356 840"> <ul style="list-style-type: none"> 自分のやりたいことを見つけて繰り返し遊ぶ。 手洗い・うがいを進めようとしたり、体や身の回りを清潔にしたりする。 食事の後の歯磨きやうがいの大切さを知り、進めようとする。 水遊びの支度や始末など、自分でできることはやろうとする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="231 840 279 952">人間関係</td> <td data-bbox="279 840 1356 952"> <ul style="list-style-type: none"> 気の合う友達と一緒に動いたり、触れ合ったりして遊ぶ。 友達の動きや言葉に目や耳を向け、意識して一緒に遊ぶ。 友達と一緒に遊ぶ中で、遊具や用具など、順番を待ったり交代し合ったりして使うようにする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="231 952 279 1086">環境</td> <td data-bbox="279 952 1356 1086"> <ul style="list-style-type: none"> 砂・土・泥・水などにかかわって遊ぶ。 虹、雲の動き、雨降りなどの自然現象に興味をもって見る。 飼育物や栽培物に興味をもち、見たり触れたり、友達や保育者と一緒に世話をしたり、生長を喜んだりする。 自分の物や共同の物を大切に扱ったり、片付けたりする。 時計や数字に興味や関心をもつ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="231 1086 279 1153">命と自然</td> <td data-bbox="279 1086 1356 1153"> <ul style="list-style-type: none"> 見たことや聞いたことなどに興味をもって話したり、疑問に思ったことを尋ねたりする。 友達と言葉のやりとりをしながら遊ぶ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="231 1153 279 1243">操盤と豊かな表現</td> <td data-bbox="279 1153 1356 1243"> <ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に過ごす中で、自分の思いを自分なりの言葉や動きで表す。 身近な素材や用具(のり、はさみ、マジック、セロテープ、絵の具)を使って、描いたり作ったりする。 カエルやカタツムリなどになりきって歌をうたったり、表現遊びをしたりする。 </td> </tr> </table>	健康な心と体	<ul style="list-style-type: none"> 自分のやりたいことを見つけて繰り返し遊ぶ。 手洗い・うがいを進めようとしたり、体や身の回りを清潔にしたりする。 食事の後の歯磨きやうがいの大切さを知り、進めようとする。 水遊びの支度や始末など、自分でできることはやろうとする。 	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> 気の合う友達と一緒に動いたり、触れ合ったりして遊ぶ。 友達の動きや言葉に目や耳を向け、意識して一緒に遊ぶ。 友達と一緒に遊ぶ中で、遊具や用具など、順番を待ったり交代し合ったりして使うようにする。 	環境	<ul style="list-style-type: none"> 砂・土・泥・水などにかかわって遊ぶ。 虹、雲の動き、雨降りなどの自然現象に興味をもって見る。 飼育物や栽培物に興味をもち、見たり触れたり、友達や保育者と一緒に世話をしたり、生長を喜んだりする。 自分の物や共同の物を大切に扱ったり、片付けたりする。 時計や数字に興味や関心をもつ。 	命と自然	<ul style="list-style-type: none"> 見たことや聞いたことなどに興味をもって話したり、疑問に思ったことを尋ねたりする。 友達と言葉のやりとりをしながら遊ぶ。 	操盤と豊かな表現	<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に過ごす中で、自分の思いを自分なりの言葉や動きで表す。 身近な素材や用具(のり、はさみ、マジック、セロテープ、絵の具)を使って、描いたり作ったりする。 カエルやカタツムリなどになりきって歌をうたったり、表現遊びをしたりする。
健康な心と体	<ul style="list-style-type: none"> 自分のやりたいことを見つけて繰り返し遊ぶ。 手洗い・うがいを進めようとしたり、体や身の回りを清潔にしたりする。 食事の後の歯磨きやうがいの大切さを知り、進めようとする。 水遊びの支度や始末など、自分でできることはやろうとする。 										
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> 気の合う友達と一緒に動いたり、触れ合ったりして遊ぶ。 友達の動きや言葉に目や耳を向け、意識して一緒に遊ぶ。 友達と一緒に遊ぶ中で、遊具や用具など、順番を待ったり交代し合ったりして使うようにする。 										
環境	<ul style="list-style-type: none"> 砂・土・泥・水などにかかわって遊ぶ。 虹、雲の動き、雨降りなどの自然現象に興味をもって見る。 飼育物や栽培物に興味をもち、見たり触れたり、友達や保育者と一緒に世話をしたり、生長を喜んだりする。 自分の物や共同の物を大切に扱ったり、片付けたりする。 時計や数字に興味や関心をもつ。 										
命と自然	<ul style="list-style-type: none"> 見たことや聞いたことなどに興味をもって話したり、疑問に思ったことを尋ねたりする。 友達と言葉のやりとりをしながら遊ぶ。 										
操盤と豊かな表現	<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に過ごす中で、自分の思いを自分なりの言葉や動きで表す。 身近な素材や用具(のり、はさみ、マジック、セロテープ、絵の具)を使って、描いたり作ったりする。 カエルやカタツムリなどになりきって歌をうたったり、表現遊びをしたりする。 										
<p>環境構成と援助</p>	<ul style="list-style-type: none"> 室温や湿度に気をつけ、風通しをよくして、気持ちよく過ごせるようにする。また、必要に応じて水分補給や休息をとるようにする。 自分の興味をもったことややりたいことを楽しんでいる姿に共感し、遊びの楽しさを十分味わえるようにする。 衣服の汚れを気にせず十分遊びが楽しめるよう配慮し、遊んだ後着替えをして、気持ち良さが感じられるようにする。ゆとりをもって身支度や後始末の仕方などを知らせる。汚れたときは、自分で着替えられるように家庭から着替えを多めにしてもらう。 歯の健康の大切さをわかりやすく伝えるために、歯に関する絵本や紙芝居を用意したり、歯磨き指導の機会を設けたりする。手洗い、うがい、歯磨きができた心地良さを感じ取らせ、自分から進めようとする気持ちももてるようにする。 クラスの友達と同じ遊びをする中で、友達とつながりがもてるように配慮したり、言葉かけを工夫したりする。また、一人一人の子どもの動きや言葉をしっかり受け止め、何をどのようにしたいのを感じながら一緒に遊ぶことで、友達とかかわりあって遊ぶ楽しさや、自分とは違う思いに気づけるようにする。 遊びや生活の中で必要な言葉や、交代や順番の必要性を場面に応じて知らせたり、確かめたりする。 水や砂、土、泥を使って遊ぶことを十分楽しむことができるよう、必要な遊具や用具を準備しておく。保育者も一緒に遊びながら、水や砂、泥の感触を楽しめるようにする。 時間が生活に必要なことを機会を設けて話し、時計や数字に興味ももてるようにする。 子どもの興味に合った図鑑や絵本を見やすい場所に用意し、子どもの発見や驚きに共感したり見たり、感じた思いを大切に受け止める。 戸外で雨の音を楽しんだり、小動物を見つけ観察できるようにゆとりとした時間を確保する。 子どもと一緒に栽培物の世話や観察をしながら興味や関心ももてるようにする。植物の生長の変化に気づかせ、大切にしようとする気持ちももてるようにする。 自分の物やみんなの物の扱い方や片付け方を丁寧に知らせながら、大切にすることを覚えるようにする。 保育者に子どもから話しかけてきた時は、一人一人の話をゆっくり聞き、話の内容に共感しながら、話しやすい雰囲気をつくる。 自分本位な言い方や態度で自己主張する幼児には、状況に応じて友達に思いを伝える時の言葉づかいや伝え方や聞く時の態度などを知らせていく。 いろいろな素材や用具の使い方を知らせ、描いたり作ったりして遊ぶ楽しさが味わえるようにする。 雨天時でも十分に体を動かして気持ちを発散して遊ぶことができるよう、スペースを考慮し安全面に留意する。 										
<p>(小学校等の連携) 家庭・地域の連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> 蒸し暑い時期で、食欲が落ちたり体調を崩したりと子どもの健康に影響を及ぼすこともあるので、梅雨期の健康について知らせたり、子どもの日々の健康状態を伝え合ったりする。 保育参観を通して、園での子どもの様子を理解してもらい、子どもの成長を一緒に喜んだり、信頼関係を深めたりしていく。 砂や水、泥遊びを通して、園での子どもの様子を理解してもらい、クラスだよりなどで、保護者に泥遊びの汚れに対して理解を求めたりしていく。 友達とのトラブルに関しては、状況や対応を丁寧に伝えるようにする。 										

4 歳児 7 月

発達 子ども の主な 特徴	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中で見通しをもって身の回りのことを自分でできる子どもが多いが、することはわかっているにもかかわらず他の事に気が取られ、時間がかかってしまう子どももいる。声をかけるとやり遂げることができる。 気の合う友達と過ごす中で、仲間意識が芽生え始めている反面、思いの違いからトラブルになることも多い。 泥んこ遊びや水遊び、シャボン玉、色水遊びなど、興味をもった遊びを楽しんでいる。何回も繰り返し遊ぶことを楽しむ子どもがいる。友達のしている遊びに興味をもちやってみようとする子どもがいる。 水遊びやプール遊びでは喜んで参加する子どもがほとんどであるが、中には水に対して抵抗がある子どももいる。 夏野菜の栽培を通して、日々の野菜の変化や成長を楽しんでいる。収穫したり食べたりすることを喜ぶ。 夏の虫（カブトムシ・クワガタなど）を見たり捕まえたりすることを喜ぶ。図鑑などで成虫になる過程を見て喜ぶ姿が見られる。 	
養護 (ねらい 教育)	<ul style="list-style-type: none"> 夏の生活の仕方（汗の始末・着替えなど）を知り、次に何をしたらよいか見通しをもって、身の回りのことを進んでする。 友達と遊ぶ中で、自分の思いを出しながら、互いの思いを伝えあいながら遊ぶ楽しさを味わう。 友達や保育者と一緒に、水遊びやプール遊びなどの夏ならではの遊びを楽しみ、開放感を味わう。 夏の自然や小動物・野菜の栽培に興味や関心をもつ。 活動と休息のバランスを考え、心身の疲れを取り除き健康に過ごせるようにする。 	
経験 させたい 内容	健康 な心と 体	<ul style="list-style-type: none"> 汗を拭いたり、汚れた服を着替えたり、水分補給をおこない、健康に過ごす。 水遊びの身支度や後始末など、自分でできることは進んでしようとする。 夏野菜を収穫し、食べ物への関心を深め楽しく食事をする。 水遊びの約束を守って安全に遊ぶ。
	人間 関係	<ul style="list-style-type: none"> 気の合う友達や、同じ場にいる友達とかかわって遊ぶ。 遊びのルールを知り、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 行事を通して、地域の人々とかかわりを楽しむ。
	環境	<ul style="list-style-type: none"> 小動物に関心をもち、捕まえたり育てたりする。 生長を楽しみにして、夏野菜の世話をする。 雲や雷、虹など、夏の自然の変化や不思議さに興味や関心をもつ。 一学期が終わることを知り、夏休みに期待をもつ。（幼） 水・砂・土の感触を味わいながら楽しく遊ぶ。
	命と 自然	<ul style="list-style-type: none"> 思ったことや感じたことを、保育者や友達に言葉で伝える。 友達の思いを聞き、少しずつ受け入れながら遊ぶ。
	豊かな 情操	<ul style="list-style-type: none"> 曲に合わせて歌ったり、体を動かしたり、楽器を鳴らしたりする。 のりやはさみなどの使い方に慣れ、七夕飾りなどを作る。 いろいろな素材に興味をもち作ったり飾ったり、使って遊んだりする。
環境 構成と 援助	<ul style="list-style-type: none"> 室温や換気につけ、風通しをよくするなどして快適に過ごせるようにしたり、水筒やタオル、着替えはいつでも使えるようにしておき、身の回りのことを自分からしようとする気持ち大切にす。 視診や連絡ノート、プールカードなどで子どもの健康状態を十分に把握する。 水の中でいろいろなものになって歩いたり走ったりしながら、水の感触を感じられるようにする。浮かんだり沈んだりする道具を用意し、水に親しめるようにする。プール遊びをする際は、プールサイドを走らないなどの基本的な約束を伝える。 水遊びの後は疲れやすいので、保育室ではゆったりと遊べるようにする。静と動の活動のバランスに配慮する。 収穫した野菜を見たり触ったり匂いをかいだり、給食に取り入れ、皆で味わう機会をもち、食べ物への関心につなげていく。 気の合った友達と遊びながらも、それぞれの思いや楽しみは違うので、その中で自分のやりたいことができるように環境を作ったり、道具・用具を加えたりする。 簡単なルールで友達と楽しく遊べる遊びを提案し、順番や交代しながら楽しめるようにしていく。 安全に遊べるよう園庭やプールの点検、衛生管理を行い、一人一人の水に対する思いを受け入れ、無理なく水に親しめるようにする。 身近な生き物に触れ、自分たちで進んで世話をしているように環境を整えながら生命の大切さを知らせていく。 身近な自然の変化を、機会を捉えて見たり話し合ったりできるようにする。 夏休みに期待がもてるよう、過ごし方について具体的に話をする。健康や安全に気をつけることもわかりやすく伝える。（幼） 友達に自分の思いや気持ちを言葉で表現できるように、話しやすい雰囲気を作ったり、時には代弁したりしながら、伝え方を知らせていく。 互いの思いに気付き受け止め合えるように仲立ちとなったり、思いを出し合うと遊びが広がり、より楽しくなることを知らせていく。 季節の歌や子どもの興味に合わせた曲などを用意し、子どもと一緒に歌ったり、体を動かしたり、楽器を鳴らしたりしながら表現する楽しさを共有していく。 七夕飾りは、いろいろな形や色の紙やいろいろな素材を用意し、作る楽しさが味わえるようにする。 空き容器やペットボトルなどの素材を種類別に用意し選んで使えるようにする。遊びに必要な物を作る楽しさや、作った物で遊ぶ楽しさが味わえるようにする。 	
家庭 と 小学校 等の 連携	<ul style="list-style-type: none"> 気温の上昇や水遊びなどで、体力を消耗しやすい時期なので、睡眠や食事など夏の健康管理について知らせたり、家庭でもゆったりと過ごすようにしてもらう。 夏の感染症の症状や流行状況について知らせると共に、早期発見と適切な対応ができるように連絡を取り合う。 プール遊びについては、プールカードを活用して家庭と連絡を取り合い、健康状態に十分留意する。 七夕会やお涼み会などを通して、地域の人との触れ合いや、保育園の様子を知ってもらえる機会を作る。 個別懇談をすることで、園生活の様子を具体的に話したり、4月からの成長を振り返る機会となるようにしたり、成長を保護者と一緒に感じ合えるようにしていく。 夏休みを健康で安全に過ごせるように手紙を配布する。（幼） 	

4 歳児 8 月

発達 の 主 な 特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの始末や、水遊びの始末、水分補給など、自分から進んで行おうとする子どもが多くなっている。遊びや友達の様子などに気をとられたり身の回りのことが雑になっていて援助が必要な子どももいる。 ・水遊びやプール遊びなどを楽しんでいるが、午後には少し疲れが見られ、眠そうな子どもがいたり、午睡の時にいつもよりも早く寝付いている。 ・水遊びを楽しみに登園し、水あそびを大胆に楽しむ子どももいる。顔付けができるようになったことで自信をもち、水遊びがダイナミックになってきている。中にはまだ水しぶきが不意に顔にあたることなどが苦手な子どももいるが、水遊びが始まったときに比べると水に慣れてきていて、それぞれに水遊びを楽しんだり、個別の目標で頑張ったりする姿も見られる。 ・異年齢児のしているシャボン玉や色水遊びなどを見たり、時にはその遊びに挑戦しようとする姿が見られ、異年齢児の友達とのかかわりが広がってきている。 ・室内遊びは夏らしい遊びを好み、スライム遊びをじっくり楽しむことができる。水遊びに使う船などを保育者に手伝ってもらいながら、自分の考えを出したり、友達の真似をしたり、浮かべるなど試したりしながら作って遊ぶことを楽しんでいる。 ・簡単なルールのある遊びは、何度も保育者と一緒に楽しんでいくうちに、保育者がいなくても自分達なりに楽しむことも出来ている。 ・夏に経験したことを気の合う友達や保育者に話したり、聞いてもらったりすることを喜び、「昨日ね・・・」「お休みの時にね・・・。」と自分なりの表現で話す。言いたい気持ちが強く、他の子が話しているときも話を聞いたり待ったりできず、自分の思いを一方向的に言う子どもも多い。 ・春に植えた夏野菜の生長の様子を保育者や友達と一緒に観察したり世話をしたりする中で、色や形の変化に気付いて、驚いたり喜んだりする。また、身近な野菜が食材として給食や弁当に入っているのを見つけ、喜んで食べている。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の生活の仕方がわかり、衣服を着替たり、身の回りの始末などを丁寧にする。 ・友達や異年齢児と一緒に約束を守りながら、夏ならではの遊びを十分楽しむ。 ・栽培や収穫を通して食への関心をもち、食べる楽しさを味わう。 ・涼しく安全な環境の中で、活動と休息のバランスを考え、心身の疲れを取り除き健康に過ごせるようにする。 	
経験 させ たい 内 容	健康 な 心 と 体	<ul style="list-style-type: none"> ・快適な場所で、友達や異年齢児と一緒に楽しく食事をしながら、苦手なものも食べようとする。 ・活動後や午睡の時間に休息を十分にとる。 ・夏の生活の仕方（休息や午睡、水分補給、戸外へ出るときは帽子をかぶる、汗をかいたら拭いたり洗ったり着替える、遊びの身支度や後始末など）がわかり、自分で進んでする。 ・気の合う友達と、体を動かして夏の遊びを楽しむ。 ・水遊びなどの約束を守りながら、安全に遊ぶ。
	人 間 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢児の友達に親しみをもち、一緒に遊ぶ。 ・遊具や用具を大切にし、交代しながら一緒に遊ぶ。 ・喜んで地域の行事に参加し、保育者や友達や地域の人たちと一緒に楽しむ。 ・保育体験をする中学生・高校生・大学生らと一緒に遊んだり食事をして過ごし、親しみをもち。
	環 境	<ul style="list-style-type: none"> ・「深い」「浅い」「流れる」「浮く」「沈む」「透明」などを遊びを通して体験し、水の特質を知る。 ・夏の自然現象（朝もや、台風、夕立、雷、積乱雲、飛行機雲、エルニーニョ現象など）に興味、関心をもつ。 ・夏野菜（きゅうり、ナス、トマト、ピーマン、とうもろこし、かぼちゃ、枝豆など）の収穫を喜び、みんなで味わう。 ・身近な小動物（クワガタ、カブトムシ、ザリガニ、魚、セミ、カミキリムシ、鈴虫、沢蟹など）に親しんだり、愛情をもって楽しんで世話をしたりする。 ・アサガオやペチュニアなどの季節の草花を使った色水遊びをして、草花の不思議や色の変化を楽しむ。
	命 と 自 然	<ul style="list-style-type: none"> ・経験したことや思ったことや、興味をもったことなどを話したり、友達の話の聞いたりする。 ・図鑑や絵本を見たり聞いたり調べたりして、興味を広げる。
	豊 か な 情 操	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な素材や用具を使って水遊びにつかうもの（ペットボトルシャワー、船作りなど）を作ったり、作った物で遊ぶ。
	環 境 構 成 と 援 助	<ul style="list-style-type: none"> ・体調や食欲に応じて食事の量を加減して無理なく食べられるようにする。 ・室温や換気に気を付けて、風通しをよくするなどし、快適に過ごせるようにする。 ・テントや日よけなどで涼しい場所を用意し、遊びや休息が出来るようにする。 ・汗拭きタオルや着替えるの服を使いやすい場所に置き、自分でしようとする姿を認め、自信になるようにする。 ・一人一人の子どもの状態を知り、自分でできていることを認めながら、必要に応じて励ましたり教えたりして援助することで、生活習慣が身に付くようにする。 ・水遊びの後は疲れやすいので、保育室ではゆったりと遊べるようにする。静と動の活動のバランスに配慮する。 ・遊びが満足できるよう、遊具や用具を十分に用意しておき、保育者も子どもたちと一緒に体をしっかり動かして遊ぶことを楽しむ。 ・登園児が少ない時には、ゆったりとした雰囲気の中で異年齢児と一緒に楽しめるような遊びやゲームを用意し、子ども同士のかかわりがもてるようにする。トラブルが生じたときには、必要に応じて仲立ちをしたり、相手の気持ちに気付けるように声をかけていく。 ・夏ならではの遊びが十分に楽しめるように、プール（水温や水位など）やその周辺、園庭などの安全と清潔面に十分留意する。子どもたちの動線も考慮して場所の取り方に配慮する。遊具や用具（タオルや足拭きマットなど）を使いやすいように用意する。 ・楽しく安全に遊ぶための約束をみんなで話し合い、子どもたちも安全に気をつけて楽しめるようにする。 ・友達の頑張っている姿や泳いでいる姿を見せ合い、やる気もてるようにする。 ・夏の自然現象の変化を見逃さず子どもたちに伝え、その不思議さに興味もてるようにする。 ・虫とりや野菜の世話などに必要な用具（虫取り網や虫かご、飼育・栽培道具、ジョウロなど）を用意し、親しみやすい環境を整えるとともに、一緒に体験しながら、子どもの発見や驚きに共感していく。 ・一人一人とゆっくり話し時間をもち、子どもの話したい気持ちを大切にしながら、みんなに紹介したり聞いたりできるようにする。 ・季節に合った内容の図鑑や絵本を用意し、自分で見たり、友達と見たり、読み聞かせてもらったりして、興味や関心を広げる。 ・身近な素材や用具を準備し、子どもの発想や工夫を大切にしていける。
家 庭 と 小 地 域 の 連 携	<ul style="list-style-type: none"> ・暑さのため体調を崩しやすく、感染症が流行しやすい時期なので、規則正しい生活が送れるように協力をお願いする。 ・夏の感染症の流行状況を知らせたり、子どもたちの健康状態を園に知らせてもらうようにし、連絡を密に取り合う。 ・園と地域との連携について知らせ、地域の行事に積極的に参加して家族や地域の人たちとふれあう機会を大切にしよう。 	

4 歳児 9 月

<p>発達 の 主 な 特 徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長い休み明けの登園で、保護者と離れるのが不安だったり、遊びに入れず戸惑ったりする。(幼) ・生活のリズムが取り戻せず、夏の疲れから食欲が落ち、体調がよくない子どもも見られる。(幼) ・夏ならではの経験したことを、楽しく先生に話す姿が見られる。 ・身の回りのことは、その子どもなりにできているが、競争心が出てきて、急ぐあまり雑になっていることもある。 ・戸外で体を動かして遊ぶ楽しさや、友だちとかがわって遊ぶおもしろさがわかりだす。 ・したいと思う遊びに子どもが集まって、遊び始める姿が見られる。 ・年長児や友だちの遊んでいる様子を見て、真似をして跳び箱などの障害物にも挑戦するなど、やってみたいという意欲や競争心が芽生える。 ・運動会を楽しみにして、いろいろな遊びに進んで取り組む子どもが多い。反面、不安を感じる子どももいる。 ・先生や友だちと簡単なルールを作ったりして遊ぶ中で、自分の思いが伝わらず、トラブルになったり、抜け出したりする子どももいる。トラブルが起きると自分達でなんとかしようとする姿も見られるようになる。 ・遊びの中でトラブルが生じたときは、自分の気持ちを言葉で相手に伝えることもできるが、自分の思いをうまく表現できにくい子どももいる。自分の気持ちと違う子どもがいるということに気づく。 ・外に出て、虫探しに熱中したり、草花の種ができていくことに気づいたりして遊んでいる。 										
<p>(教育・養護) ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな遊びをしながら、園生活のリズムを取り戻していく。 ・身の回りのことを自分で進んでしようとする。 ・友だちと一緒に戸外で体を動かして遊ぶことを楽しみながら、決まりの大切さに気づき守ろうとする。 ・いろいろな遊びに参加し、見たこと、感じたことを表現する。 ・友達と一緒に思いっきり体を動かして遊ぶ。 ・自分の思いを伝えながら、気の合う友だちと遊ぶことを楽しむ。 ・季節の変化に気づき、身近な自然に触れて遊ぶ。 ・気温の変化に応じて、健康で、安全な環境をつくり、快適に過ごせるようにする。 										
<p>経験させたい内容</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="268 752 319 887">健康な心と体</td> <td data-bbox="319 752 1327 887"> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者と一緒に身の回りを整える。 ・体と食べ物の関係について興味をもち、楽しい雰囲気の中で友だちと楽しく食事する。 ・生活の仕方が分かり、自分から身の回りを清潔にしたり、休息をとったり、水分を補給したりする。 ・戸外で、体を十分に動かしたり、様々な道具や用具を使った運動遊びを楽しんだりする。 ・運動会に向けて、体を十分に動かして活動的な遊びを楽しむ。 ・友達と一緒に歩く、走る、スキップするなどの動きを楽しむ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="268 887 319 999">人間関係</td> <td data-bbox="319 887 1327 999"> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単なルールを守り、友だちと一緒に楽しんで遊ぶ。 ・気の合う友だちと好きな遊びを楽しむ。 ・友達と一緒に、競争したり、協力し合ったりして遊ぶ。 ・行事に参加して、楽しんで異年齢児や家族、地域の人のとの触れ合いをする。 ・年長児の姿に憧れの気持ちをもち、運動会に向けて友だちと力を合わせて取り組む。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="268 999 319 1066">環境</td> <td data-bbox="319 999 1327 1066"> <ul style="list-style-type: none"> ・行事を楽しみにし、喜んで参加する。 ・夏から秋への自然の変化に気づく。 ・身近な虫や草花に興味をもち、見たり、触れたりして遊ぶ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="268 1066 319 1200">命と自然</td> <td data-bbox="319 1066 1327 1200"> <ul style="list-style-type: none"> ・夏の体験を自分なりの言葉で伝える。 ・自分のしたこと、見たこと、感じたことを保育者や友達に話す。 ・自分の考えを友だちに伝え、相手の考えを聞くこととする。 ・人の話を聞いたり、知っていることを話したり、わからないことを尋ねたり、教えてもらったりする。 ・保育者や友だちと言葉のやり取りを楽しんだりする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="268 1200 319 1290">豊かな表現</td> <td data-bbox="319 1200 1327 1290"> <ul style="list-style-type: none"> ・童話、絵本、視聴覚教材などを見たり聞いたりする。 ・友だちと一緒にリズムに合わせて体を動かしたり、歌ったりする。 ・さまざまな材料や素材を使って、遊びに必要なものや行事に用いるものを作る。 ・友達に自分の思いやイメージを伝えながら遊ぶ。 ・さまざまな素材を使い、遊びに必要なものを工夫して、描いたり作ったりする。 </td> </tr> </table>	健康な心と体	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者と一緒に身の回りを整える。 ・体と食べ物の関係について興味をもち、楽しい雰囲気の中で友だちと楽しく食事する。 ・生活の仕方が分かり、自分から身の回りを清潔にしたり、休息をとったり、水分を補給したりする。 ・戸外で、体を十分に動かしたり、様々な道具や用具を使った運動遊びを楽しんだりする。 ・運動会に向けて、体を十分に動かして活動的な遊びを楽しむ。 ・友達と一緒に歩く、走る、スキップするなどの動きを楽しむ。 	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単なルールを守り、友だちと一緒に楽しんで遊ぶ。 ・気の合う友だちと好きな遊びを楽しむ。 ・友達と一緒に、競争したり、協力し合ったりして遊ぶ。 ・行事に参加して、楽しんで異年齢児や家族、地域の人のとの触れ合いをする。 ・年長児の姿に憧れの気持ちをもち、運動会に向けて友だちと力を合わせて取り組む。 	環境	<ul style="list-style-type: none"> ・行事を楽しみにし、喜んで参加する。 ・夏から秋への自然の変化に気づく。 ・身近な虫や草花に興味をもち、見たり、触れたりして遊ぶ。 	命と自然	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の体験を自分なりの言葉で伝える。 ・自分のしたこと、見たこと、感じたことを保育者や友達に話す。 ・自分の考えを友だちに伝え、相手の考えを聞くこととする。 ・人の話を聞いたり、知っていることを話したり、わからないことを尋ねたり、教えてもらったりする。 ・保育者や友だちと言葉のやり取りを楽しんだりする。 	豊かな表現	<ul style="list-style-type: none"> ・童話、絵本、視聴覚教材などを見たり聞いたりする。 ・友だちと一緒にリズムに合わせて体を動かしたり、歌ったりする。 ・さまざまな材料や素材を使って、遊びに必要なものや行事に用いるものを作る。 ・友達に自分の思いやイメージを伝えながら遊ぶ。 ・さまざまな素材を使い、遊びに必要なものを工夫して、描いたり作ったりする。
健康な心と体	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者と一緒に身の回りを整える。 ・体と食べ物の関係について興味をもち、楽しい雰囲気の中で友だちと楽しく食事する。 ・生活の仕方が分かり、自分から身の回りを清潔にしたり、休息をとったり、水分を補給したりする。 ・戸外で、体を十分に動かしたり、様々な道具や用具を使った運動遊びを楽しんだりする。 ・運動会に向けて、体を十分に動かして活動的な遊びを楽しむ。 ・友達と一緒に歩く、走る、スキップするなどの動きを楽しむ。 										
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単なルールを守り、友だちと一緒に楽しんで遊ぶ。 ・気の合う友だちと好きな遊びを楽しむ。 ・友達と一緒に、競争したり、協力し合ったりして遊ぶ。 ・行事に参加して、楽しんで異年齢児や家族、地域の人のとの触れ合いをする。 ・年長児の姿に憧れの気持ちをもち、運動会に向けて友だちと力を合わせて取り組む。 										
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・行事を楽しみにし、喜んで参加する。 ・夏から秋への自然の変化に気づく。 ・身近な虫や草花に興味をもち、見たり、触れたりして遊ぶ。 										
命と自然	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の体験を自分なりの言葉で伝える。 ・自分のしたこと、見たこと、感じたことを保育者や友達に話す。 ・自分の考えを友だちに伝え、相手の考えを聞くこととする。 ・人の話を聞いたり、知っていることを話したり、わからないことを尋ねたり、教えてもらったりする。 ・保育者や友だちと言葉のやり取りを楽しんだりする。 										
豊かな表現	<ul style="list-style-type: none"> ・童話、絵本、視聴覚教材などを見たり聞いたりする。 ・友だちと一緒にリズムに合わせて体を動かしたり、歌ったりする。 ・さまざまな材料や素材を使って、遊びに必要なものや行事に用いるものを作る。 ・友達に自分の思いやイメージを伝えながら遊ぶ。 ・さまざまな素材を使い、遊びに必要なものを工夫して、描いたり作ったりする。 										
<p>環境 構 成 と 援 助</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一学期に親しんだ道具や用具を取り入れて、安定して過ごせる環境を整える。(幼) ・室温や換気に気をつけ、風通しをよくし、園庭にはテント、パラソル等用意して涼しい場所で生活ができるよう工夫する。 ・お茶を用意し、水分補給や休息が十分にできるようにする。 ・園庭の整備と道具の点検を行い安全に運動遊びができるようにする。 ・運動遊びに自ら進んで取り組めるように、ボール、フープ等の道具を目につく場所に準備したり、場の確保をする。 ・運動会への期待がもてるような雰囲気を作る。体をしっかり動かした後後は、ゆったりとした時間の中で、休息できるようにする。 ・虫を追いかけたり、草花で遊んだり自然のもので遊べるように園庭の草花などの環境を整える。 ・見つけた虫や草花などを観察したり、世話ができるように図鑑、飼育ケース、虫めがね等用意しておく。 ・身の回りの始末や後片づけなどに、一人一人の子どもとゆとりがかわる時間をもつようにする。 ・長い休みのあいだ家庭で過ごした子ども達が、園生活にスムーズに入っていけるよう一人一人と丁寧なかかわりをしながらリズムを取り戻していくようにする。(幼) ・食欲が落ちている子どもには、食事の量を調節して、完食できたという満足感を味わえるようにする。 ・運動会に向けて、一人一人の子どもの取り組んでいる姿を認めながら、楽しく取り組めるように工夫する。 ・走るなどの活動をする中で、友達と競い合い、勝つ喜び、負ける悔しさを感じながら「次もやってみよう」と積極的に取り組めるように保育者が励まして気持ちを盛り上げていく。 ・遊びの中で自分達でルールを考えようとする姿を受け止め、子どものアイディアを生かして遊びが進められるように、保育者も一緒に遊ぶようにする。 ・遊びの中の簡単なルールを守って遊べるようにかかわり、みんなですることや、力を合わせる楽しさを感じられるように配慮する。 ・子どもが自然の変化に気づいた時は共感し、一緒に草花や虫探しなどをして秋の雰囲気を楽しみ味わえるようにする。捕まえた虫を世話したり、逃がしたりしながら、命の大切さに気付けるようにする。 ・イメージを広げながらさまざまな表現できるように材料や用具などを用意しておく。 ・みんなの前で話をする機会をつくるなどして、人の話を聞く機会を大切にする。また保育者は子どもの話に耳を傾けたり、発問をして、子どもの思いを引き出すようにする。 ・遊びのイメージに合わせて必要なものを自分達で作れるように素材を提示したり、作り方のアイディアを知らせたりする。また、保育者がモデルとなって使い方を示し遊びに取り入れられるようにする。 										
<p>(家庭・地域との連携)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・暑さが厳しかったり、涼しい秋風が吹いたりして気温の変化も大きいので、体調の変化に気を配ってもらうようにする。 ・夏休み中の生活の様子を作品などで知り、子どもの様子を知る手掛かりとする。(幼) ・保護者にとりなどを出し、園行事の意味や考え方を理解してもらうように知らせる。必要に応じて協力をお願いする。 ・行事を通して、地域の人の触れ合いをもち、お年寄りに対する尊敬や優しい気持ちが育つように触れ合いの機会を工夫する ・小学校の運動会を見に行ったり、地域の運動会に参加したりすることで、自分達の運動会にも期待や目標がもてるようにする。 										

4歳児 10月

<p>発達 こと の 主 な 特 徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ほとんどの子どもが身の回りの事を進んでできるようになり、簡単な当番活動を喜んでする。 いろいろな運動遊びをする中で自信をもち、新しいことに挑戦しようとする姿がみられる。また、運動会を経験してからは、年長児のまねをして、いろいろな運動に積極的に取り組もうとしたり、他の遊びにも進んでかかわる姿がみられる。 遊びの中でルールを守ることの大切さに気づき、ルールを守ろうと声を掛け合って遊ぶ姿がみられる。 みんなで協力して、おみこし作りなどの目標に向かって取り組む姿がみられる。 気の合う仲間同士でグループになって行動したり、みんなで行う遊びに喜んで参加するようになる。中にはまだ自分の世界に没頭したり、保育者と遊ぶことで安心したりする姿も見られる。 気の合う友達と一緒に遊びたい思いも強くなる中で、イメージしたことや遊びたいことの違いから、遊びが中断することがある。友達同士で折り合いをつけて遊ぼうとする姿がみられる。 身近な秋の自然の変化に興味をもち、落ち葉や木の実などを集めたり、ごっこ遊びやさまざまな表現遊びに取り入れてたりして遊ぶ。
<p>ねらい (教育・ 養護)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に体を思いきり動かし、決まりを守って、いろいろな遊びを楽しむ。 気の合う友達とイメージを出し合いながら、遊びを進める。 異年齢の友達などと触れ合って遊ぶことを楽しむ。 秋の自然に興味関心をもち、自然物を遊びに取り入れて遊ぶことを楽しむ。 気温の変化に応じて、健康で安全な環境を作り、快適に生活できるようにする。
<p>経験 させ たい 内 容</p>	<p>健康 な 心 と 体</p> <ul style="list-style-type: none"> 気温や活動に応じて、衣服の調節をする。 食事のマナーに気をつけて食べようとする。 収穫の経験から、食に関する興味や関心をもち、食と健康の関係を知る。 戸外で思いっきり体を動かして活動する。 遊びに必要な準備や片付けなどを保育者と一緒にする。 運動会での他のクラスの競技や演技をまねて遊ぶ。
	<p>人 間 関 係</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に簡単なルールを守って遊ぶ。 気の合う友達と誘い合って遊ぶ。 行事に喜んで参加し、異年齢児の友達や地域の人たちと触れ合う。
	<p>環 境</p> <ul style="list-style-type: none"> さつま芋堀りを通じて、畑の様子や土の感触を味わいながら収穫する。 園外保育に出かけ、秋の自然を感じながら、景色や自然物、生き物を見たり触ったりして興味や関心をもち、木の实や木の葉などのさまざまな自然物を使って遊ぶ。 種を集めたり球根を植えたりして、季節の移り変わりとともに身近な植物の変化に関心をもち、
	<p>命 と 自 然</p> <p>言 葉</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達同士で互いの思いや考えを言ったり、聞いたりする。 進んで絵本や童話に親しみ、興味をもって聞いたり、想像したりする。
	<p>豊 か な 情 境</p> <p>表 現</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に遊びに必要なものを作る。 感じたことや自分のイメージを言葉を使ったり、描いたり作ったりして表現する。 生活の中で音や色、形や手触りなどに気づく。 さまざまな自然物や身近な素材を使って作ったり、作ったもので遊んだりする。 友達と一緒にリズムに合わせて体を動かしたり、楽器を使ったりして遊ぶ。
<p>環 境 構 成 と 援 助</p>	<ul style="list-style-type: none"> 風通しのよい木陰、テント、お茶などを準備し、活動後にゆったりとした気分で休めるような場所を作っておく。 食事をする時の姿勢や、食事中に大きな声で話さない、話に夢中になり過ぎないなど、みんなでおいしく食べるためのマナーを子どもたちと確認する。 収穫した芋や野菜をクッキングして、みんなで食べるようにする。 心地よい気候の中、体を思いっきり動かして遊べるよう、遊びに必要なものを子どもと一緒に準備しながら場を作っていくようにする。 遊具や運動用具の安全点検と整備を十分にし、保育者と一緒に出し入れしやすいようにする。 運動会で親んだ曲や身に付ける道具などを用意しておき、友達と一緒に遊べる雰囲気を作る。 運動会の経験を思い出したり、年長児に刺激を受けたりして、体を動かす遊びを楽しめるようにする。保育者も一緒に遊びながら大勢の友達と触れ合う楽しさやスリル感を味わえるようにする。 集団遊びや簡単なルールのあるゲームを取り入れ、異年齢の友達と一緒に遊ぶ経験を積み重ねていく。 気の合う友達と一緒に遊ぶ中で、一人一人の子どもがどのように遊ぼうとしているかを把握し、互いの考えや思いを伝え合って遊びが進むようにする。一人一人の思いが生かされるような素材を環境として用意し、自発的に遊ぶ姿を大切に 子ども同士の遊びの中で、思っていることに取り組めるように様子を見守る。また、保育者から遊びが展開するような声をかけ、遊びが広がっていくようなかかわりをする。 芋を掘りながら、土の感触を味わったり、気づいたことや感じたことを伝えてくる子どもたちに共感する。 園外保育を取り入れ、探索を楽しみながら、秋の自然に触れられるようにする。 園外保育をする時は、自然に触れて遊べる場所や危険な場所の下見をする。 木の葉の色の変化や秋の心地よさを子どもたちに伝え、自然の移り変わりに興味をもちたり、親しみがわくようにする。また、子ども物の発見を受け止め共感する。 子どもたちが見つけた木の葉や木の実などを目につきやすい場所に置き、使って遊べるようにする。 園内外の身近な自然の様子に気づかせ、季節の移り変わりや、木の葉、木の実を使った遊びを紹介したり、秋の自然に関する絵本や図鑑をいつでも見ることができるようしておく。自分の思いを相手に伝える大切さを知らせるとともに、相手の気持ちにも気づけるように配慮する。 ごっこ遊びなどの中で、友達と話したり、言葉のやり取りが楽しめるようにかかわる。また、状況によっては、嫌な気持ち(してほしくないことなど)を相手に伝えられるように伝え方を知らせたり優しく励ましたりする。 子どもが自分の思いをゆっくり話せるように、保育者はゆったりと構え、落ち着いて話せる雰囲気を作る。 子どもたちが自分のイメージで描いたり作ったりできるように、必要な材料や場を用意する。 作ったものを使ったり、飾ったりして遊ぶ活動を計画し、作り方や遊び方、自然物を取り入れる楽しさを伝えながら、表現の幅を広げていく。
<p>家 庭 ・ 地 域 と の 連 携 (小 学 校 等 と の 連 携)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 運動会には家族や地域の方も参加できるプログラムを用意し、参加したり応援したりできるようにする。 運動会当日は一緒に楽しんでもらい、単に結果や出来栄でなく、取り組みの過程での子どもの育ちやその子なりの力の発揮を温かく受け止めてもらえるようにする。 保護者が子どもと一緒に活動を楽しむことによって、子どもの成長の様子や子どもの取り組もうとする姿勢を理解してもらおう。 園だよりやクラスだよりなどで、園での食事指導や薄着の習慣について知らせ、家庭との連携を密にする。 さまざまな行事を通して、身近な地域とのつながりを深める。 園外に出かける機会も多くなり、地域の人とのあいさつやふれあいを大切にしたり、その様子を保護者に伝えたりしながら、地域とのつながりがあって過ごしていることを知らせる。 近くの自然環境を利用して豊かな経験ができるよう、情報を集めたり、足を運んだりしながら秋を楽しむ計画を進めていく。

4 歳児 11 月

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">発達 この 主 な 特 徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 戸外遊びを喜び、ルールを守ると遊びが楽しくなることに気付き、自分たちでアイデアを出し合って試したり、工夫したりしながら遊びを進めることができるようになる。 ・ 遊びの幅が広がり、友達と楽しむ姿が多くなっている。自分の思いを伝え、互いの話を聞きながら遊んでいるが主張がぶつかり合ってトラブルになることもある。トラブルになった時、自分の思いが伝えられなかったり、保育者に頼る子どももいる。 ・ クラスやグループの仲間意識が高まり、対抗ゲームや一つの目的をもって活動することを喜び、友達の思いや考えを受け入れたり協力したりして遊ぶ。 ・ 身近な秋の自然に興味をもち、散歩や戸外遊びを通して、拾った木の実や葉を使って友達と一緒に色、形、大きさを比べたり遊びに取り入れられたりして遊ぶ。 ・ 友達のしている遊び、年長児の遊び、保育者のしている遊びなどに目が向き、いろいろな遊びに積極的にかかわろうとする。 ・ いろいろな楽器に触れたり、好きな楽器を交替して楽しんだりする。 ・ 一つの遊びの継続時間が長くなり、遊びの人数も5～6人と増え、繰り返しを楽しんでいる。 ・ 親しみをもってストーリーのある話を聞き、言葉のやりとりを楽しんだり好きな役になったり、役を交替したりして遊ぶ。 ・ 身の回りの友達のことなどに興味、関心が高まり、気付いたり、知ったりしたことを友達や保育者や家族に伝えようとする。 	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">(教育・養育)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心地よい気候の中で、戸外に出て、自分なりに繰り返し挑戦して遊んだり、友達とルールを共有して、思い切り体を動かして遊ぶ。 ・ 季節の移り変わりを感じながら、秋の自然に興味をもち、自然物を遊びに取り入れて遊ぶことを楽しむ。 ・ 友達と楽しく遊ぶ中でイメージを共有し、自分の思いや考えを言葉で伝えたり、友達の気持ちに気付き受け止めたりしながら、一緒に遊ぶ。 ・ 体調や気候の変化に合わせて、自ら衣服の調整や手洗いうがいができるように、生活の仕方を知らせ、健康で快適に生活できるようにする。 	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">経験させたい内容</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">健康な心と体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旬の食べ物に関心をもち、見たり、触れたり、味わったりすると共に、感謝の気持ちをもって何でも食べようとする。 ・ 衣服の調節や手洗い、うがいの大切さを知り、気温差や活動・体調に応じた生活の仕方を身につけ、自分でしようとする。 ・ なわ遊び、ボール遊び、鉄棒などに繰り返し挑戦する。
	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">人間関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気の合う友達と一緒に遊ぶ中で、ルールを守って遊ぶようにする。 ・ 友達と繰り返し遊ぶ中で、交代したり、譲り合ったりして遊ぶ。 ・ 年長児の遊びに興味や関心をもち、遊びに取り入れる。 ・ 友達のアイデアを遊びに取り入れて遊びを進める。
	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秋の自然の美しさや不思議さに興味や関心をもち、自然物に触れたり、遊びに取り入れられたりして、季節の移り変わりに気づく。 ・ 木の実や木の葉などの自然物を集めて遊んだり、形、数量などの違いに気づいたりする。 ・ 身近で働く人たちの話を聞き、親しみや感謝の気持ちをもつ。 ・ 用具の正しい使い方が分かり、友達と一緒に準備したり、片づけたりする。
	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">命と自然</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活経験を通し、友達とのやりとりの中で自分の思いや考えを友達に伝えたり、相手の思いや気持ちにも気づき、聞き入れようとする。 ・ お話の登場人物になりきって、友達と言葉のやりとりをする。
	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">豊かな情操と賢さ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊びの中でさまざまな自然物を工夫して使い、作ったり、描いたり、遊んだりして、その性質を感じる。 ・ 友達と一緒に歌をうたったり、リズムに合わせて体を動かしたり、楽器遊びをして友達とリズムが合う心地よさを感じたりする。 ・ 絵本、紙芝居、お話を見たりして、ストーリーに興味や関心をもち、自分なりのイメージを膨らませ、登場人物になりきって遊ぶ。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">環境構成と援助</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 寒くなってくるが、戸外で一緒に遊び、繰り返し体を動かして遊ぶことで、体が温まることを感じさせたり、適度な休息を取ったりする。 ・ 食べ物とからだの関係を話し合ったり、視覚教材を工夫したりして、何でも食べることを大切さを知らせていくと共に、食器に手を添えるなどのマナーを知らせ、正しい姿勢で楽しく食事ができるように見守っていく。 ・ 風邪や感染症の予防には手洗いうがいが大変であることを知らせて、丁寧に行えるように見守る。また、衣服の調節は気温や遊びに応じて、一人一人の体調にきめ細かく配慮していく。 ・ 友達関係の深まりや変化により、いろいろなトラブルが生じるが、育ちにつながるように、状況をしっかり捉え、仲立ちとなり、お互いの気持ちや考えがわかり合えたり、伝え合えたりできるようにする。 ・ 自分たちで群れ遊びが進められるようになるまでは保育者も一員となって遊びに加わる。みんなで遊ぶ楽しさや満足感を大切に、さまざまな遊びを考え出したり、ルールを工夫したりなどして繰り返し挑戦しようとする気持ちを受け止め、必要に応じて援助する。 ・ 家族や身近かで働く人達の仕事の内容や大切さに気付かせたり、感謝の気持ちを言葉や態度で表わせるように配慮したりする。 ・ 自然物は種類別に分けて容器に入れたり、名前を付けたりして、選んで使えるようにする。また、自然物を数えたり、比べたりする子どもの姿を受け止める。 ・ 自然物との触れ合いの中で、子どものつぶやきや感動に共感し、季節の移り変わりや自然の美しさや不思議さへ興味関心を深めていく。 ・ ごっこ遊びに使うものを作るコーナーを作る。次の日も継続して遊べるように子どもたちの思いを受け止めて、遊びの場づくりをする。ごっこ遊びの中で、それぞれの子どもの実現したいことを大切に受け止め、特定の子どもの思いで遊びが進んでいきすぎないようにする。 ・ 発表会に向けて、クラスの友達と一緒に役割分担をしたり、なりきって遊んだりする楽しさが共有し合えるようにする。 	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">(家庭・地域との連携)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 風邪や感染症の予防や対応についておたよりを配布するなどして、手洗いうがいの励行やバランスの良い食事、十分な睡眠をとることの必要性について知らせる。 ・ 散歩や園外保育の際に、地域の方と親しみをもって、挨拶や言葉を交わすようにする。 ・ 発表会に向けての取り組みの中で頑張る姿を伝え、保護者と一緒に成長を喜ぶようにする。 ・ 保護者に身近な自然に目が向けられるように話しかけたり、園での秋の自然を取り入れた子どもの遊びの様子などを伝えたりする。 	

4 歳児 1 2 月

発達 子ども の主な 特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・気候の変化に合わせて、自ら衣服の調節をしようとしている。防寒着を着て登園する子どもがいるが、着脱がスムーズにできない子どももいる。 ・寒くなり室内にこもりがちの子どもがいるが、保育者が誘うと円形ドッジボール、鬼ごっこ、長縄、短縄などを一緒に楽しむことができる。 ・劇遊びでは、自分の好きな登場人物になりきって遊ぶ姿が見られる。遊んでいく中で、その場面や登場人物になりきった言葉が言えるようになる。遊びを繰り返す中で自信につながったり、家の人に見てもらおう期待も膨らんでくる。 ・気の合った友達とイメージを出し合い、考えたり工夫したりして、ごっこ遊びを楽しんでいる中で、譲り合いや我慢する姿も見られる。 ・氷や霜など見たり触れたりして冷たさなど知り、興味をもって友達と遊んでいる。 ・クリスマスやお正月など、自分の楽しみにしていることを保育者に話す。 	
養護 (教育) ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・寒さに負けず、戸外で積極的に遊ぶ楽しさを味わう。 ・発表会に向けて、友達とのイメージを共有する。 ・秋から冬へ移り変わる自然の変化や身近な自然の生活の変化に気付き、興味関心をもつ。 ・年末の行事や季節の行事に興味をもち、喜んで参加する。 ・冬の生活の仕方を知らせ、健康に過ごせるようにする。 	
経験 させたい 内容	健康 な心と 体	<ul style="list-style-type: none"> ・食事のマナーを守って、楽しみながら食事をする。 ・冬を健康に過ごすため、手洗い、うがい、衣服の調節、防寒着の着脱など身の回りのことを進んでしようとする。 ・鼻汁が出たら自分でふき取りきれいにする。 ・戸外で体を十分に動かして活動する。
	人間 関係	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単なルールのあるゲームや群れ遊びに参加し、友達とイメージを共有しながら遊ぶ。 ・友達とのかかわりの中で、相手にも思いや考えがあることに気づく。 ・互いの思いや考えを伝えたり、受け入れたりして遊びに取り組む。
	環 境	<ul style="list-style-type: none"> ・風の冷たさや吐く息の白さ、霜など季節の変化に気づき、冬の訪れを感じる。 ・クリスマスや歳末、大晦日、お正月を迎えるなど、季節の行事や風習にふれて興味・関心をもつ。 ・冬休みの過ごし方を知る。 ・新しい年を迎えることを知り、みんなで身の回りの大掃除をする。 ・2学期が終わることを知り、終業式に参加する。(幼)
	命と 自然	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いを言葉で伝えたり、相手の話を聞いたりしながら遊びを進めていく楽しさを知る。 ・劇遊びの役になりきって台詞を考えたり、言葉のやりとりをする。
	豊 かな 情 境	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と考えを出し合って、発表会やクリスマス会などに必要な物を作ったり描いたりする。 ・友達と一緒に歌をうたったり、リズムに合わせて体を動かしたり、楽器遊びをして友達とリズムが合う心地よさを感じたりする。 ・絵本や童話、生活経験などからイメージを広げ、なりたいものになりきって遊び、体全体を使って表現する楽しさや心地よさを感じる。
環 境 構 成 と 援 助	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒に楽しく食事しながら、食事のマナーを一人一人の子どもに応じて知らせていく。 ・寒くなり風邪が流行するので、手洗いやうがい、衣服の調節などの大切さを知らせる。また、室内の温度、湿度、換気などには十分気をつける。 ・全身を動かし体が温まるような遊びを用意し、保育者も一緒に遊びながら体を動かすことの楽しさを共感していく。 ・友達と共通の目的に向かって活動する中で、相手の気持ちや考えを聞いたり、自分の考えを伝えたり出来るように仲立ちとなり、友達との関係が深まるようにする。 ・冬ならではの自然に触れる機会をもち、子どもの発見や驚きに共感したり、まわりの友達に知らせたりしながら、興味や関心が深まるようにする。 ・クリスマスに対して楽しい夢としての期待を持っているので、子どもの気持ちを大切に、優しい心温まる夢の世界になるような環境を整える。 ・普段と違う街の様子を知らせたり、大晦日やお正月などの行事に関心がもてるようにする。 ・冬休みの過ごし方を話し合い、冬休みに期待を持ち、安全で規則正しい生活が送れるようにする。 ・2学期が終わることや新しい年を迎えることを話し合い、保育室のロッカーや工具箱、遊具などを整理整頓し、きれいになった心地よさを味わうことができるようにする。 ・友達と考えを出し合って工夫し、発表会で使う道具を作ることができるよう、用具や素材を用意しておく。 ・一人一人の表現したい気持ちを受け止め、恥ずかしがらずに自分の力を十分に発揮できるように励ましたり、イメージが膨らむような言葉かけをし、一人一人の頑張り認めながら達成感を感じることが出来るようにする。 ・発表会を通して友達とイメージを共有しながら一緒に遊ぶ楽しさや、みんなに見てもらおうことの喜びを感じる事が出来るようにする。 	
(家庭・ 地域との 連携)	<ul style="list-style-type: none"> ・冬の健康的な生活習慣が身につくように、家庭でも手洗いやうがいの励行、衣服の調節などしてもらおう。 ・発表会に向けての子どもの様子や気持ちの変化などをお便りや送迎の時に伝え、親子で期待をもって当日を迎えられるように配慮し、子ども達の成長や園の様子に関心をもってもらおう。 ・餅つき、門松作り、クリスマス会などの行事に地域の人の協力を頂き、行事を盛り上げてもらったり、子ども達と触れ合ってもらおう。 ・新年を迎える準備や正月遊びと一緒にするなど、家庭での触れ合いを大切にしてもらおう。 ・個人懇談をし、2学期の子どもの成長の様子を知らせるとともに、子育てについて一緒に考える機会をもつ。 ・冬休みの過ごし方について手紙を配布し、家族で年末年始の行事や生活に興味や関心がもてるようにする。 	

4歳児 1月

<p>発達 の 主な 特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・冬休み明けは、身仕度、友達とのかわりなど生活のリズムを取り戻すのに時間を要する。 ・冬休みの経験を友だちや保育者に伝える姿がみられる。新しい経験や活動にも進んで取り組み、友達と協力したり工夫したりして遊ぶ姿が見られる。 ・友達とのやりとりの中で、自分も思いを伝え、相手の話を聞こうとしている。 ・寒くても、鬼ごっこやサッカーなど、活発に体を動かして遊ぶことを楽しむ子ども多い。 ・室内では、保育者や友達と一緒にかるたやトランプなど、自分たちでルールを確かめ合ったり、遊び方を考えたりする姿も見られるようになる。また、遊びの中で、数や文字への関心が芽生えてくる。 ・かるたやすごろく、こま回し、羽根つきなどの正月遊びに興味をもち、気の合う友だちと一緒に楽しんでいる。 ・正月遊びのルールを守り友だちと一緒に遊ぶ中で、自分たちでルールを確かめ合ったり、遊び方を考えたりする姿も見られるようになる。 ・気の合う友だちと離れて、自分がしたいと思う遊びに参加し、他の友だちと遊ぶことができる。 ・気の合う友だちとのかわりが深くなり、じっくり遊ぶようになる。「ごっこ遊び」の内容によっては人数をふやそうとほかの友だちを誘っているようになる。 ・気の合う友だちと遊ぶ中でいろいろなイメージを膨らませたり、相手に自分の考えを伝えたりして自分たちで遊びが進められるようになる。 ・寒くても、鬼ごっこやサッカーなど、活発に体を動かして遊ぶことを楽しむ子ども多い。 ・ルールのある遊びを楽しむようになっているが、勝ちたくて自己主張したり自分本位のルールを作ったりする子どももありトラブルになることもある。 ・うがいや手洗いをすすんでする子もいるが、寒さのためいがいげんにすませてしまう子もいる。 ・防寒着の着脱や始末などを自分でできる。 ・吐息の白さや雪や霰、氷などに興味を示し、触ったりして遊ぶ子どもの姿がある。 										
<p>(教育・養育) ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康に過ごすために必要な冬の生活習慣を知り、自分からしようとする。 ・友達と意見を出し合いながら、友達と一緒に遊びを考えたり、ルールや約束を守ったりしながら楽しく遊ぶ。 ・友達とイメージを伝え合い、共感しながら遊ぶことを楽しむ。 ・戸外で全身を十分に動かし、暖をとる遊びを友だちと一緒にする楽しさを味わう。 ・冬の自然現象に興味をもち、興味や関心をもつ。 ・お正月遊びやルールのある遊びに興味をもち、ルールを守って遊ぶ。 ・一人一人の健康状態を把握し、風邪や感染症の予防と対策に努める。 ・気温の変化や活動に応じて、健康的で安全な環境をつくり、快適に生活できるようにする。 										
<p>経験 させ たい 内容</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="231 705 295 907">健康な心と体</td> <td data-bbox="295 705 1356 907"> <ul style="list-style-type: none"> ・献立や冬の食材に興味をもち、楽しく食事をする。 ・行事を通して伝統的な日本の食生活や習慣を知る。 ・冬の健康的な生活の仕方がわかり、自分から進んでやる。 ・体に異常のある時は自分から知らせようとする。 ・生活リズムを取り戻し健康に過ごす。 ・暖房器具などに気を付け、室内で安全に気をつけて遊ぶ。 ・寒さに負けず、戸外で体をしっかり動かして遊ぶ。(暖をとる遊び) ・手洗いうがいの大切さを知る。(インフルエンザ・風邪の予防) ・衣服の調節などが必要であることがわかり、自分でしようとする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="231 907 295 1008">人間関係</td> <td data-bbox="295 907 1356 1008"> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と一緒にトランプやかるたなどの準備や片づけを最後までする。 ・友達や保育者と遊び方やルールを守りながら遊ぶ。 ・自分のイメージしたことを友達に伝えたり、友達の考えを聞いたりしながら遊ぶ。 ・友達と誘い合って、戸外でルールのある遊びを楽しむ。 ・こまなどのお正月遊びなどを教え合ったり友だちや異年齢児と一緒にする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="231 1008 295 1131">環境</td> <td data-bbox="295 1008 1356 1131"> <ul style="list-style-type: none"> ・園庭にできた氷や霜柱などの冬の現象に気づき不思議に思ったり触れてみたいりする。 ・霜柱や雪に興味をもち触れたり、それを使って遊んだりして楽しむ。 ・水栽培の植物の生長に気づき関心をもつ。 ・遊びの中で、数えたり比べたり、分けたり集めたりして遊ぶ楽しさを味わう。 ・伝統的な行事や伝承遊びを楽しむ。 ・かるた、トランプ、郵便ごっこなどの遊びをしながら文字や数字に興味や関心をもつ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="231 1131 295 1220">言葉</td> <td data-bbox="295 1131 1356 1220"> <ul style="list-style-type: none"> ・経験したことを友達や保育者に話したり、疑問に思った事を尋ねたりする。 ・絵本、童話、視聴覚教材などを見たり聞いたりして、イメージを広げ遊びを楽しむ。 ・遊びを進めていく中で、自分の思いや伝えたいことを言葉で表現する。 ・友達の思いや考えを聞き、受け入れて遊ぶ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="231 1220 295 1276">豊かな表現</td> <td data-bbox="295 1220 1356 1276"> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちと一緒に歌ったり、楽器を鳴らしたり、リズムに合わせて体を動かしたりして楽しむ。 ・友だちと一緒に様々な素材を使って作り、作ったもので遊ぶ。 ・年長児の遊んでいる姿を見て、真似して作ったり描いたりする。 </td> </tr> </table>	健康な心と体	<ul style="list-style-type: none"> ・献立や冬の食材に興味をもち、楽しく食事をする。 ・行事を通して伝統的な日本の食生活や習慣を知る。 ・冬の健康的な生活の仕方がわかり、自分から進んでやる。 ・体に異常のある時は自分から知らせようとする。 ・生活リズムを取り戻し健康に過ごす。 ・暖房器具などに気を付け、室内で安全に気をつけて遊ぶ。 ・寒さに負けず、戸外で体をしっかり動かして遊ぶ。(暖をとる遊び) ・手洗いうがいの大切さを知る。(インフルエンザ・風邪の予防) ・衣服の調節などが必要であることがわかり、自分でしようとする。 	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と一緒にトランプやかるたなどの準備や片づけを最後までする。 ・友達や保育者と遊び方やルールを守りながら遊ぶ。 ・自分のイメージしたことを友達に伝えたり、友達の考えを聞いたりしながら遊ぶ。 ・友達と誘い合って、戸外でルールのある遊びを楽しむ。 ・こまなどのお正月遊びなどを教え合ったり友だちや異年齢児と一緒にする。 	環境	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭にできた氷や霜柱などの冬の現象に気づき不思議に思ったり触れてみたいりする。 ・霜柱や雪に興味をもち触れたり、それを使って遊んだりして楽しむ。 ・水栽培の植物の生長に気づき関心をもつ。 ・遊びの中で、数えたり比べたり、分けたり集めたりして遊ぶ楽しさを味わう。 ・伝統的な行事や伝承遊びを楽しむ。 ・かるた、トランプ、郵便ごっこなどの遊びをしながら文字や数字に興味や関心をもつ。 	言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・経験したことを友達や保育者に話したり、疑問に思った事を尋ねたりする。 ・絵本、童話、視聴覚教材などを見たり聞いたりして、イメージを広げ遊びを楽しむ。 ・遊びを進めていく中で、自分の思いや伝えたいことを言葉で表現する。 ・友達の思いや考えを聞き、受け入れて遊ぶ。 	豊かな表現	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちと一緒に歌ったり、楽器を鳴らしたり、リズムに合わせて体を動かしたりして楽しむ。 ・友だちと一緒に様々な素材を使って作り、作ったもので遊ぶ。 ・年長児の遊んでいる姿を見て、真似して作ったり描いたりする。
健康な心と体	<ul style="list-style-type: none"> ・献立や冬の食材に興味をもち、楽しく食事をする。 ・行事を通して伝統的な日本の食生活や習慣を知る。 ・冬の健康的な生活の仕方がわかり、自分から進んでやる。 ・体に異常のある時は自分から知らせようとする。 ・生活リズムを取り戻し健康に過ごす。 ・暖房器具などに気を付け、室内で安全に気をつけて遊ぶ。 ・寒さに負けず、戸外で体をしっかり動かして遊ぶ。(暖をとる遊び) ・手洗いうがいの大切さを知る。(インフルエンザ・風邪の予防) ・衣服の調節などが必要であることがわかり、自分でしようとする。 										
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と一緒にトランプやかるたなどの準備や片づけを最後までする。 ・友達や保育者と遊び方やルールを守りながら遊ぶ。 ・自分のイメージしたことを友達に伝えたり、友達の考えを聞いたりしながら遊ぶ。 ・友達と誘い合って、戸外でルールのある遊びを楽しむ。 ・こまなどのお正月遊びなどを教え合ったり友だちや異年齢児と一緒にする。 										
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭にできた氷や霜柱などの冬の現象に気づき不思議に思ったり触れてみたいりする。 ・霜柱や雪に興味をもち触れたり、それを使って遊んだりして楽しむ。 ・水栽培の植物の生長に気づき関心をもつ。 ・遊びの中で、数えたり比べたり、分けたり集めたりして遊ぶ楽しさを味わう。 ・伝統的な行事や伝承遊びを楽しむ。 ・かるた、トランプ、郵便ごっこなどの遊びをしながら文字や数字に興味や関心をもつ。 										
言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・経験したことを友達や保育者に話したり、疑問に思った事を尋ねたりする。 ・絵本、童話、視聴覚教材などを見たり聞いたりして、イメージを広げ遊びを楽しむ。 ・遊びを進めていく中で、自分の思いや伝えたいことを言葉で表現する。 ・友達の思いや考えを聞き、受け入れて遊ぶ。 										
豊かな表現	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちと一緒に歌ったり、楽器を鳴らしたり、リズムに合わせて体を動かしたりして楽しむ。 ・友だちと一緒に様々な素材を使って作り、作ったもので遊ぶ。 ・年長児の遊んでいる姿を見て、真似して作ったり描いたりする。 										
<p>環境 構成 と 援助</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・暖房器具は安全が保てるように整備して、室温や換気につけて使用する。 ・暖房器具のある部屋での過ごし方や防火について話し合い、危険防止への関心を深め、安全に過ごせるようにする。 ・饅頭や餅つくり七草を用意したりして正月の伝統的な食べ物由来を知らせ、食文化や習慣に興味をもてるようにする。 ・衣服の調節や防寒具の始末がしやすいように収納場所を用意する。 ・寒さのため生活習慣が乱れがちになるので一人一人の状態を見守り、うがいや手洗いなどの必要性についてわかりやすく話し、自分からしようとする気持ちをもてるようにする。 ・冬休み中の生活から園生活のリズムに戻していきけるよう話かけたり、見守ったりしながら自分でしようとする姿を認めていくようにする。 ・園庭や固定遊具の凍っている所や霜のある場所を点検し、危険のないようにする。 ・冬の自然現象は機会を逃さず、保育に取り入れていく。 ・子どもの発見や疑問に思ったことを大切に受け止め共感し、友達と一緒に考えたり試したりするきっかけとなるようにする。 ・保育者も一緒に戸外に出て遊び、集団遊びや自然に触れる遊びへの興味や意欲が増すようにする。 ・寒くても思いっきり戸外遊びができるように誘いかけ、暖をとる遊びを意図的に計画する。(鬼ごっこ、サッカー、縄とびなど) ・正月らしい雰囲気づくりをする。(新カレンダー、年賀状、饅頭、お餅、干支のおきものなど) ・ゆったりと落ち着いて室内遊びが楽しめるように、敷物を敷いたり、遊具や用具を十分に用意する。 ・年長児の遊びに刺激され、自分たちもやってみようとする気持ちを大切に、見守ったり手助けしたりしながら、遊びが広がり、友達関係も深まっていくようにする。 ・ルールや約束のある遊びでは、子ども同士で遊びの進め方について話しあったり確かめ合ったりできるように、保育者が必要に応じて仲立ちとなる。 ・ルールの把握ができない子どもやチーム意識がもたない子どももいるので、遊びを通して具体的に教えていく。 ・水栽培などを観察しやすい場所に置き、図鑑や絵本などで見たり調べたりできるように環境を整える。 ・描いたり作ったりできるように素材や用具を使いやすいように準備しておく。自分で考えたり試したり工夫したりして遊べるように、必要なものを選んで使えるようにする。 ・正月遊びをしながら、遊びのルールを共有していく。 ・水が冷たく手洗いうがいなどがあそび場にあるそかになりがちだが、紙芝居や絵本などを使い予防の大切さや、健康への関心をもてるようにしていく。 ・友達や年長児と正月遊びを楽しむ中で、刺激を受けたり、ルールを教え合ったりする姿を認め、友達関係が広がるようにする。 ・霜柱が土が盛り上がり、霜や氷が日の光でキラキラ光る様子など、不思議で美しい自然に目を向け保育者もそのおもしろさを子どもと共に感じていく。 ・遊びの中で自分の思っていることや考えを言葉で表せるようにし、トラブルになった時は、保育者が仲介しながら、互いの思いが伝わるよう言葉を添えたり、思いを引き出したりして援助する。 ・自分なりに考えたり工夫したりしたところを認め、周りの子どもに知らせることで、友だちのよさに気づけるようにする。 										
<p>家庭 との 連携 (地域の連携)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・休み明けで乱れがちな生活リズムを取り戻すよう協力をお願いする。 ・休み中の家庭での様子を聞いたり、園での様子を伝えたりしながら、生活リズムを整え安定して過ごせるように連携を図っていく。 ・家庭でも正月遊びを楽しく広げていくような機会をもってもらう。 ・風邪やインフルエンザが流行しやすい時期なので、健康状態についてこまめに知らせ合う。また、手洗いうがい、衣服の調節の必要性を家庭にも伝えていく。 ・子どもの成長の姿を具体的に保護者に知らせ、子どもと共に成長を喜ぶ。 ・伝統的な行事に、地域のお年寄りの方々に参加していただき、おもちのつき方や丸め方を教えてもらったり、一緒に食事をしたりして交流がもてるようにする。 										

4 歳児 2 月

発達 の こ と の 主 な 特 徴	<ul style="list-style-type: none"> 活動に応じて衣服の調節や手洗いうがいなど、ほとんどの子どもが自分から行うことができているが、寒さのために身の回りのことがいい加減になってしまう子どももいる。 気の合う友達ができ、早く遊びたい気持ちから身支度を手際よくする子どももいる。 寒くても戸外で、友達同士誘い合って鬼ごっこやかくれんぼ、サッカーやドッチボールなどを楽しむ姿が見られる。また、気の合う友達とルールを作って遊ぶ姿も見られる。しかし、思いの行き違いからトラブルになることもある。 室内では、ごっこ遊びやさまざまな素材を使って描いたり作ったりして遊ぶ子どももいる。 こま回しや縄跳びなど、繰り返して遊び、意欲的に取り組む姿が見られる。 冬の自然現象に興味、関心をもち、氷や霜柱を見つけてよく観察したり、触れて遊んだり、不思議さを感じたりしている。 雪が降ると、雪遊びを楽しむ姿が見られる。 友達の作っているものに興味をもち、自分もしてみたいと思い、作り方を教えてもらったり、自分なりに工夫して作ったりして一緒に遊ぶことを楽しむ姿が見られる。 ごっこ遊び（お店屋さんごっこ・おうちごっこ・基地ごっこなど）に必要なものを作ったり、言葉のやり取りをしたりしてなりきって遊ぶことを楽しんでいる。 ほかの遊びのグループとのつながりができるようになり、イメージが膨らんで遊びが広がっていく。 										
（教育 ね ら い ）	<ul style="list-style-type: none"> 冬の健康的な生活の仕方が身につく、元気に活動する。 自分なりに遊びのイメージや目標をもち、繰り返し挑戦する。 興味のあることにじっくりと取り組み、自分なりの力を発揮しながら遊びを楽しむ。 友達と一緒に、イメージを膨らませながら遊ぶ楽しさを味わう。 戸外遊びや季節の行事を楽しみながら、冬の自然現象に興味や関心をもち、冬から春への自然の変化に気づく。 気温の変化や活動に応じて、健康的で安全な環境をつくり、快適に生活できるようにする。 										
経験 さ せ た い 内 容	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;">健康 な 心 と 体</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 自分の健康に関心をもち、楽しい雰囲気の中で友達と一緒に食事をし、何でも食べる。 手洗いうがい、防寒着の始末などを自分から進んでする。 体に異常のある時は自分から知らせる。 寒さに負けず、戸外で体を動かして元気に遊ぶ。 こま回しや縄跳びなど、自分なりに目的をもって取り組み、自分の力を発揮する。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">人間 関 係</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 集団遊びなどをして遊ぶ中で、簡単なルールを作り遊びを進める。 友達と考えを出し合ったり、イメージを共有しながら遊びを進めたりする。 保育者や友達と一緒に遊びや生活の準備をしたり片づけたりする。 異年齢の友達とともに行事に参加してかわりを深める。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">環 境</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 冬の自然に親しみ、霜柱、氷、雪などに触れて遊ぶ。 春を待つ植物の様子に気づいたり、見つけたりして、関心をもち、 節分などの季節の行事に参加して、行事にまつわる昔話などに興味をもち、 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">命 と 自 然</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 自分の思っていることを保育者や友達に分かるように話したり、友達の話を親しみをもって聞いたりする。 遊びの中で、自分の気持ちや考えを伝える。 絵本や童話、視聴覚教材を使って、自分のイメージを動きや言葉で表現して遊ぶ。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">豊 か な 情 操</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 経験したことをごっこ遊びに取り入れて遊ぶ。 イメージを広げながら、さまざまな素材を使って描いたり作ったり、作ったものを使って遊ぶ。 </td> </tr> </table>	健康 な 心 と 体	<ul style="list-style-type: none"> 自分の健康に関心をもち、楽しい雰囲気の中で友達と一緒に食事をし、何でも食べる。 手洗いうがい、防寒着の始末などを自分から進んでする。 体に異常のある時は自分から知らせる。 寒さに負けず、戸外で体を動かして元気に遊ぶ。 こま回しや縄跳びなど、自分なりに目的をもって取り組み、自分の力を発揮する。 	人間 関 係	<ul style="list-style-type: none"> 集団遊びなどをして遊ぶ中で、簡単なルールを作り遊びを進める。 友達と考えを出し合ったり、イメージを共有しながら遊びを進めたりする。 保育者や友達と一緒に遊びや生活の準備をしたり片づけたりする。 異年齢の友達とともに行事に参加してかわりを深める。 	環 境	<ul style="list-style-type: none"> 冬の自然に親しみ、霜柱、氷、雪などに触れて遊ぶ。 春を待つ植物の様子に気づいたり、見つけたりして、関心をもち、 節分などの季節の行事に参加して、行事にまつわる昔話などに興味をもち、 	命 と 自 然	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思っていることを保育者や友達に分かるように話したり、友達の話を親しみをもって聞いたりする。 遊びの中で、自分の気持ちや考えを伝える。 絵本や童話、視聴覚教材を使って、自分のイメージを動きや言葉で表現して遊ぶ。 	豊 か な 情 操	<ul style="list-style-type: none"> 経験したことをごっこ遊びに取り入れて遊ぶ。 イメージを広げながら、さまざまな素材を使って描いたり作ったり、作ったものを使って遊ぶ。
健康 な 心 と 体	<ul style="list-style-type: none"> 自分の健康に関心をもち、楽しい雰囲気の中で友達と一緒に食事をし、何でも食べる。 手洗いうがい、防寒着の始末などを自分から進んでする。 体に異常のある時は自分から知らせる。 寒さに負けず、戸外で体を動かして元気に遊ぶ。 こま回しや縄跳びなど、自分なりに目的をもって取り組み、自分の力を発揮する。 										
人間 関 係	<ul style="list-style-type: none"> 集団遊びなどをして遊ぶ中で、簡単なルールを作り遊びを進める。 友達と考えを出し合ったり、イメージを共有しながら遊びを進めたりする。 保育者や友達と一緒に遊びや生活の準備をしたり片づけたりする。 異年齢の友達とともに行事に参加してかわりを深める。 										
環 境	<ul style="list-style-type: none"> 冬の自然に親しみ、霜柱、氷、雪などに触れて遊ぶ。 春を待つ植物の様子に気づいたり、見つけたりして、関心をもち、 節分などの季節の行事に参加して、行事にまつわる昔話などに興味をもち、 										
命 と 自 然	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思っていることを保育者や友達に分かるように話したり、友達の話を親しみをもって聞いたりする。 遊びの中で、自分の気持ちや考えを伝える。 絵本や童話、視聴覚教材を使って、自分のイメージを動きや言葉で表現して遊ぶ。 										
豊 か な 情 操	<ul style="list-style-type: none"> 経験したことをごっこ遊びに取り入れて遊ぶ。 イメージを広げながら、さまざまな素材を使って描いたり作ったり、作ったものを使って遊ぶ。 										
環 境 構 成 と 援 助	<ul style="list-style-type: none"> 風邪の予防や清潔への関心がもてるような絵やポスターを掲示する。 冬の健康的な生活習慣が身につけてきた様子を見守りながら、自分から進んでできるようになったことを誉めたり、クラスの友達に知らせたりして、自信がもてるようにする。 園庭や固定遊具の凍っている所などを点検し安全が保てるようにする。 友達と一緒に、遊具や用具の準備や片づけがしやすいように、収納スペースを設けておく。 保育者も進んで外で遊び、子どもを誘うようにする。また、さまざまな集団遊びやゲームなどを積極的に取り入れるようにして、友達と一緒に体を動かして遊ぶ楽しさや、運動すると体が暖まることを知らせる。 一人一人の子どもの動きやつづがゆきから、それぞれの子どものイメージをしていることを受け止め、遊びの中で実現できるように保育者が仲立ちとなる。 それぞれの遊んでいる場が、交流し合えるよう環境づくりに配慮する。 年長児との交流ができる場の設定を考え、いろいろな遊びや生活、仕事などの引継ぎがスムーズに行われる機会がもてるようにする。 遊びや生活の中で、頑張っていることやできるようになったことを認め、クラスの友達に知らせることで自信につなげられるようにしたり、周りの子どもへの刺激になるようにしたりする。 お店やごっこでは、クラスや異年齢の友達とのやり取りが十分に楽しめるようにするとともに、必要に応じて、年下の子どもへの優しいかわりができるようにする。 節分の行事に向けて、鬼に関する絵本を用意しておく。 豆まきの由来をわかりやすく伝えるときに、「心の中にどんな鬼がいるかな？」と問いかけ、子どもが自分の内面をみつめる機会をつくる。 子どもの興味に応じて、冬から春への動物や植物の様子などの絵本や図鑑などを用意しておく。 子どもたちの冬の自然現象に気づいたことや驚きや発見をしっかり受け止めたり、友達に伝え合えたりできるようにする。 友達と同じ目的に向かって活動する中で、自分の思いを伝えたり、友達の思いを聞いたりして、互いのイメージが共有できるように仲立ちをする。 一人一人の子どもの話に耳を傾け、うまく言葉が出てこない子どもに対しては、言葉を引き出せるように言葉を添えたり、必要に応じて、思いを汲むように代弁したりする。 作ったり描いたりできるように場を設け、素材や用具を用意して、子どもの欲求に応じていつでも使えるようにしておく。 										
家 庭 と （ 小 地 域 学 校 と 等 ） の 連 携	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣が身につけてきたことや成長したことを連絡し合う。 防寒具が多くなる季節なので、子どもが自分でジャンパーのファスナーの上げ下げや手袋の始末などができるように、保護者に扱いやすいように工夫してもらおうなどの協力をしてもらおうようにする。 戸外遊びが無理なく進められるように、個々の健康状態を知らせてもらう。 風邪やインフルエンザなどの発生状況や予防対策（手洗い、うがい、薄着の励行など）について、適宜、家庭にも周知する。 										

